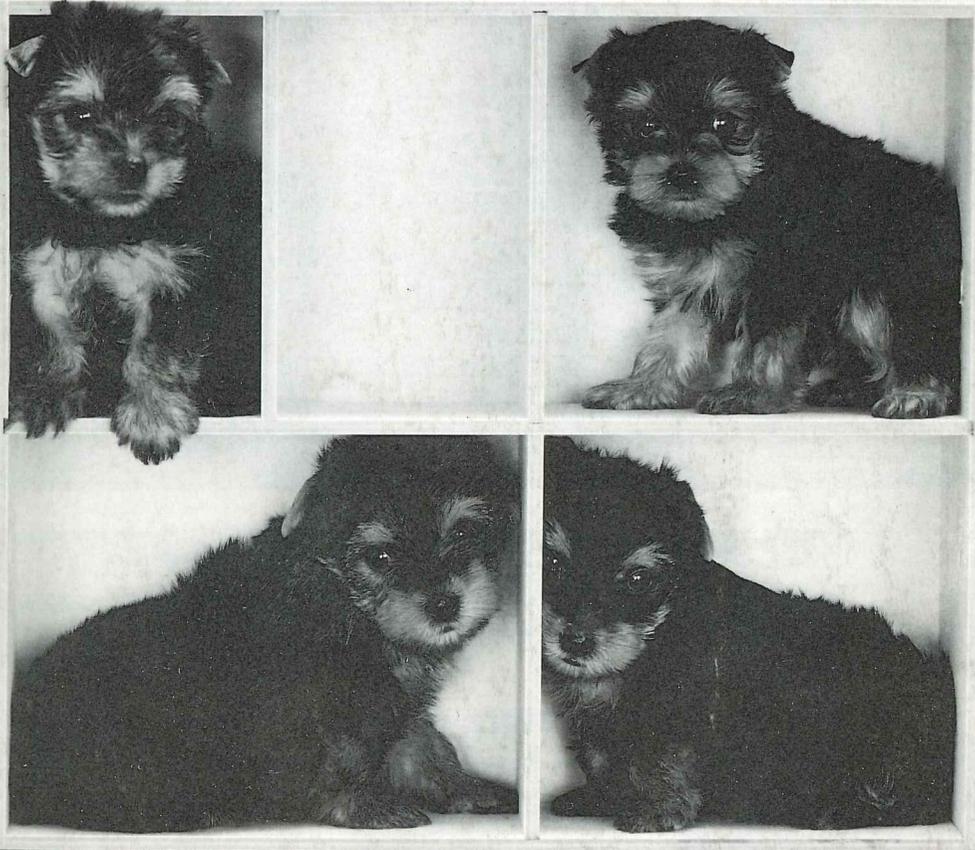


シーリングニュース

43

◆1991年下半期の展望

◆乙種防火戸用シーリング材として
シリコーン系認定



秋

号

1991.10.25

日本シーリング工業会



東レ・ダウコーニング・シリコンの 建築用シリコンシーラント



信頼と実績でお客さまのニーズにお応えします。

東レ・ダウコーニング・シリコンのシリコンシーラントは、耐候性・耐熱性・耐寒性・耐久性・ゴム弾力性などの多くの優れた高機能を持ち、ほとんどの建築部材をつなぐ接着・シーリング材として、高層ビル・一般住宅などの現代建築に欠かせない材料となっております。

東レ・ダウコーニング・シリコンでは、より完成度の高い建築物をめざすニーズにお応えするため、信頼と実績にうらづけされた高品質な製品を取り揃えています。

※資料をご用意しておりますので、ご請求ください。

シリコンと先進技術で世界を結ぶ

東レ・ダウコーニング・シリコン株式会社

本店・東京営業第4部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 〒103 TEL03(3246)2010

大阪営業部	TEL 06(376)2511代表	南関東営業所	TEL 0462(22)1595代表
名古屋営業部	TEL 052(563)3951代表	北関東営業所	TEL 0485(26)3972代表
九州営業部	TEL 092(712)6158代表	東関東営業所	TEL 0436(22)5743代表
広島営業部	TEL 082(249)7811代表	仙台営業所	TEL 022(227)9528代表
北陸営業部	TEL 0762(23)1585代表	北海道営業所	TEL 011(231)5281代表

SUNSTAR

強くしなやかに

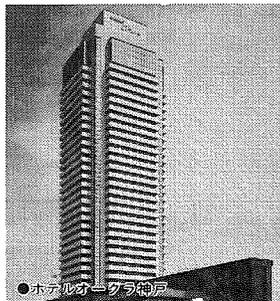


不動の姿勢で建っているように見える高層ビルですが、実際にはほんの少しずつ揺れ動いています。建築物に柔軟性を与え、設計の自由を支える重要なシーリング材。サンスター技研は、そのシーリング材のリーディングメーカーとして、高度化、多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

耐候力と対応力に自信あり、
サンスターのシーリング材。

サンスター技研株式会社

本社:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(81)0351
東京支店:東京都港区六本木6-2-31(東京日産ビル) TEL.03(5410)1710
名古屋支店:名古屋市千種区宝場2丁目4番7号 TEL.052(722)6815
大阪支店:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(84)0600



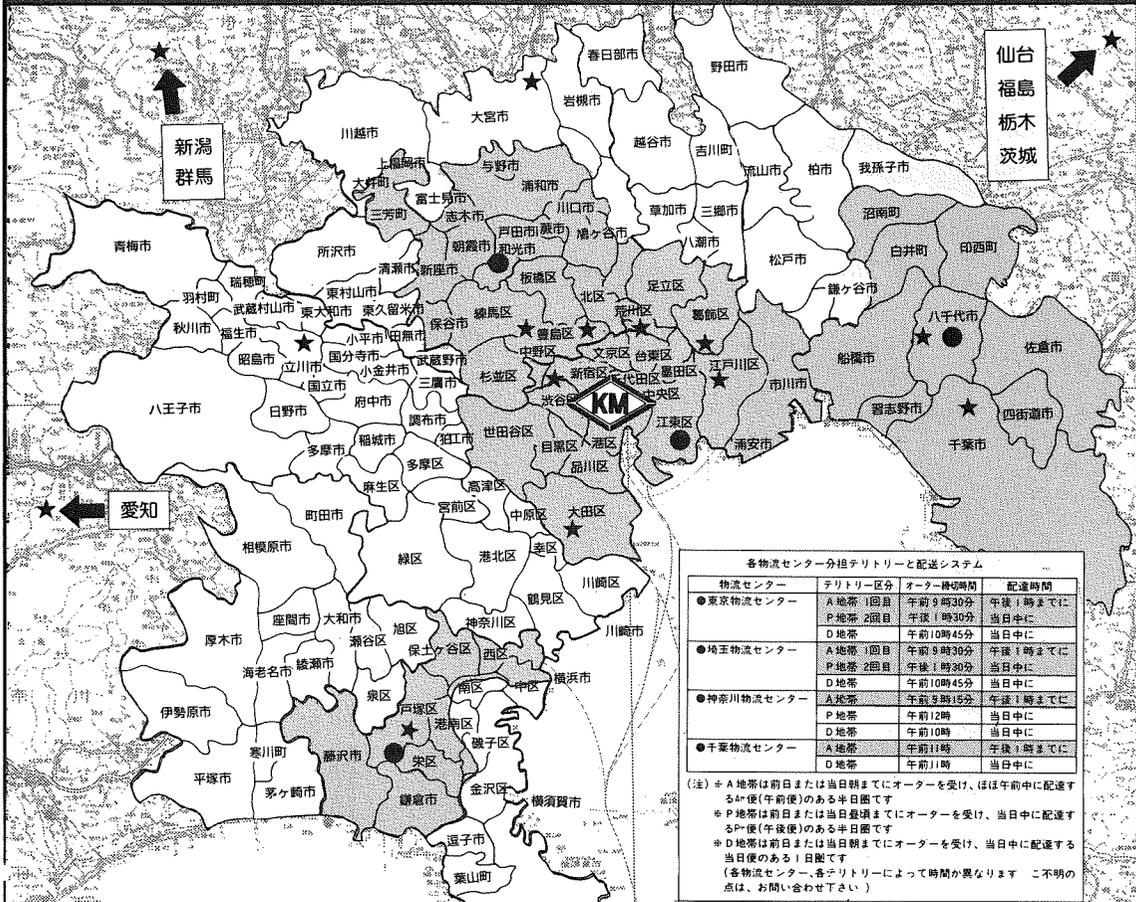
建築用弾性シーリング材
ペンギンシール

工期短縮に貢献する一歩進んだ流通をめざして



化研マテリアルグループ

首都圏物流ネットワーク完成



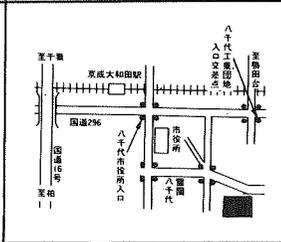
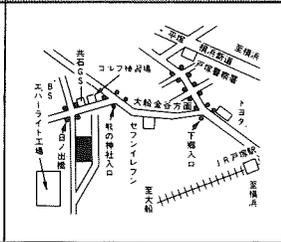
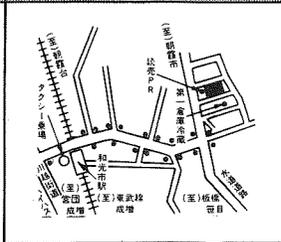
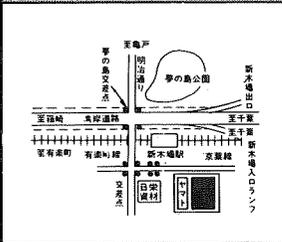
各物流センター分担テリトリーと配達システム

物流センター	テリトリー区分	オーダー締切時間	配達時間
●東京物流センター	A地帯: 1回目	午前9時30分	午後1時までに 当日中に
	B地帯: 2回目	午後1時30分	当日中に
	D地帯	午前10時45分	当日中に
●埼玉物流センター	A地帯: 1回目	午前9時30分	午後1時までに 当日中に
	B地帯: 2回目	午後1時30分	当日中に
	D地帯	午前10時45分	当日中に
●神奈川物流センター	A地帯	午前9時30分	午後1時までに 当日中に
	B地帯	午前12時	当日中に
	D地帯	午前10時	当日中に
●千葉物流センター	A地帯	午前9時30分	午後1時までに 当日中に
	B地帯	午前11時	当日中に
	D地帯	午前11時	当日中に

(注) * A地帯は前日または当日朝までにオーダーを受け、ほぼ午前中に配達するA便(午前便)のある半日圏です
 * B地帯は前日または当日昼頃までにオーダーを受け、当日中に配達するB便(午後便)のある半日圏です
 * D地帯は前日または当日朝までにオーダーを受け、当日中に配達する当日便のある1日圏です
 (各物流センター、各テリトリーによって時間が異なります。ご不明の点は、お問い合わせ下さい。)

- ★グループ販売店
 - ★東日化研産業株 宮城県仙台市
 - ★ビルド産業株 福島県郡山市
 - ★水戸化研株 茨城県水戸市
 - ★梓産業株 東京都大田区
 - ★映川商 東京都豊島区
 - ★柳田 東京都江戸川区
 - ★城東北研株 東京都葛飾区
 - ★城北化研株 東京都荒川区
 - ★日産マテリアル株 東京都練馬区
 - ★横浜名商会 東京都新宿区
 - ★多摩化研株 東京都立川市
 - ★クラタ産業株 千葉県千葉市
 - ★柳シービーエム 千葉県八千代市
 - ★埼玉化研株 埼玉県大宮市
 - ★映ジェーシーサプライ 神奈川県横浜市
 - ★誠研工業株 群馬県太田市
 - ★新潟タイム販売株 新潟県長岡市
 - ★ベスト化研株 栃木県宇都宮市
 - ★中央化研株 愛知県名古屋

東京物流センター 江東区新本場1-17の5 TEL.03(3521)7439
埼玉物流センター 和光市松ノ木町5-5 TEL.0484(67)1691
神奈川物流センター 横浜市戸塚区戸塚町1022の1 TEL.045(881)4921
千葉物流センター 八千代市萱田町536の3 TEL.0474(83)5558



建材商社 **KM 化研マテリアル株式会社** KAKEN MATERIAL LTD.
 〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第2鈴丸ビル)
 営業一部 一課 03(3436)3011 二課 03(3436)3012 三課 03(3436)3013
 営業二部 一課 03(3436)2391 二課 03(3436)3010 三課 03(3436)1966
 営業三部 03(3436)3014



仕上塗材を汚染する
心配がなくなりました。
「ボンド」シーリング材シリーズのニューリーダー!

2成分形アクリルウレタン系シーリング材(カラーマスタータイプ)

ボンドAUシール

新素材のアクリルウレタンを主成分とした高性能建築用弾性シーリング材です。
耐久性・耐候性、にすぐれるとともに、卓越した非塗装性で
あらゆる塗装材に対し、汚染がないのが特長です。(耐久性区分・9030該当)

■用途
塗装仕上げを施す各種目地に
各種シーリング材の打替え工事に

■容量
1ケース/4Q×2セット入り
(カラーマスターは別添付)

コニシ株式会社 ボンド建設部

本社:大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541
東京支店:東京都台東区台東4-28-11(第一勧銀渋谷ビル) 〒110

TEL06(228)2963
TEL03(5688)2281

21世紀の未来都市を想定した新技術開発

シーリング リニューアル フロアコーティング&フリーアクセス



株式会社 マサル

■本社

〒135 東京都江東区佐賀1丁目9番14号
TEL.03 (3643) 5 9 1 1(ダイヤルイン案内)
FAX.03 (3630) 3 2 7 9

※ダイヤルイン

- シーリング事業本部 03(3643)5907(営業部)
03(3643)5913(工事部)
03(3643)5902(技術課)
03(3643)5912(管理課・安全課)
- 新規事業部 03(3643)5871
03(3643)5916(フロア課)
- 管理本部 03(3643)5944(経理部・総務部)

■リニューアル事業本部

〒103 東京都中央区日本橋箱崎3番12号
(5セントラルビル2・3F)

TEL.03(3662)0586(代表)
FAX.03(3662)0590

■MTシステム事業部

〒135 東京都江東区佐賀2丁目1番3号
TEL.03(3643)5805(代表)
FAX.03(3643)5865

■横浜営業所

〒221 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町1丁目7-21
(第一杉田ビル2F)

TEL.045(322)5651(代表)
FAX.045(322)5107

■西東京営業所

〒190 東京都立川市高松町2丁目27番27号
(TBK第2高松ビル203号室)

TEL.0425(29)1385(代表)
FAX.0425(29)1325

KANEKA

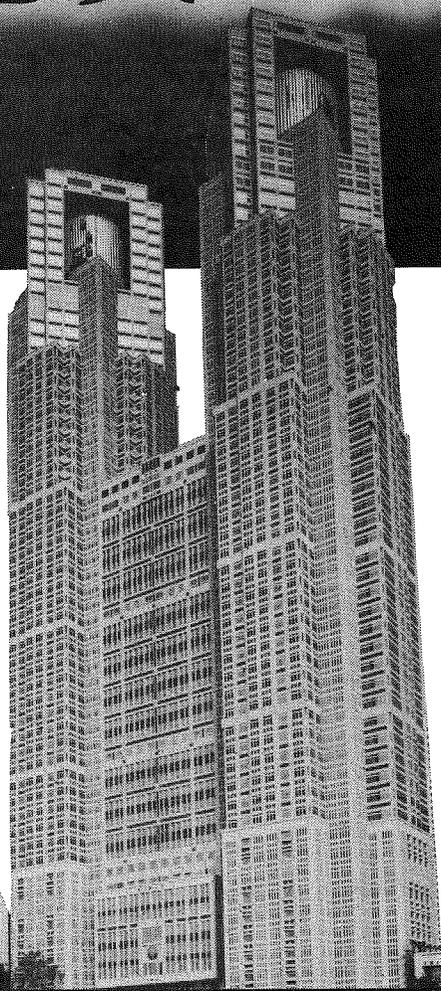
建築美を支える。

変成シリコンポリマー

カネカMSポリマー_R

超高層ビルからプレハブ住宅まで、

NECビル
本社ビル



東京都庁舎

目立たないけれど
高反応で定着しています。

- ▲耐久性、耐候性に優れています。
- ▲作業性が良好です。
- ▲石材、タイルなど目地周辺を汚染しません。
- ▲塗料の付着性が良好です。
- ▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社

機能性樹脂事業部 液状樹脂営業部

- 本 社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)226-5331(ダイヤルイン)
- 東京支社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)3479-9675(ダイヤルイン)

汚れない、汚さない、ポリサルファイド。

チオコール LP[®]

きわめて美観、ひたすら景観。



美観を誇る石張建築物・その石材とコンクリートの接着にはアルカリ(エフロレンセス)を通さないチオコール変性エポキシ樹脂が最適で、石目地を汚さないチオコールシーラントとともに長年にわたり多くの実績を誇っています。

東京都新庁舎・新宿新都心

撮影：中川敦玲

TORAY

東レチオコール株式会社

本社：〒279 千葉県浦安市美浜1-8-1 (東レビル5階)
☎0473(50)6151代

総代理店 株式会社野村事務所

本社：〒105 東京都港区西新橋1-1-15(物産ビル別館5階) ☎03(3502)1468代
大阪出張所：〒542 大阪市中央区南船場4-12-8(関西心斎橋ビル7階) ☎06(243)0341代

目次

- 8 1991年下半期の展望 (広報委員会)
- 11 乙種防火戸用シーリング材としてシリコン系
シーリング材が認定をうけました
- 16 接着剤・シーリング材京都国際会議開催案内
- 18 1991年度日本建築学会大会開催
- 19 大会ルポルタージュ
- 21 俳句“不忍池界限”(加藤正守)
- 22 トピックス
- 24 各地からのたより
- 27 会員会社紹介(東レ・ダウコーニング・シリコン、テイパ化工)
- 30 リレー随筆その10“虫いろいろ・虫の虫”(角野元昭)
- 34 随筆“砂利道でつかえ棒の工場から”(山内雅夫)
- 40 随筆“工業会の7年間”(工業会を去るにあたって)(木村皓一)
- 42 技術文献紹介
- 44 シーリング材生産動向
- 47 刊行物案内

変成シリコン系 2成分形シーリング材

ニツシラー・MS

ポリウレタン系 2成分形シーリング材

ニツシラー・ウレタン

ポリサルファイド系 2成分形シーリング材

ニツシール

ブチル系 1成分形シーリング材

スレニシール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ ☎135 東京都江東区白河 4-9-5
■ ☎東京03 (3642) 7105~6・7155

1991年下半期

シーリング産業の展望

広報委員会

本委員会では本年4月の「シーリング誌28号」で、……本年も建築業界は極端な落ち込みを見せず堅調に推移し、シーリング業界も技能工不足、また採算面での悪化などはあるものの概ね好調に推移するのではないかと記した。

しかし一連の証券業界、銀行業界等のバブル経済の崩壊による高原景気の終幕、また今だにはっきりとしないソビエト連邦の動向の影響などから、今後の日本経済は混迷の度を深めるのではないかと予測される。本稿では内需拡大の牽引車的役割りを果たしてきた建築業界がいかな状況となるか、またそれに伴いシーリング業界がどう影響を受けるか下半期の動向を展望する。

○建築着工動向

本年1～6月期の新設住宅着工個数は68万4,300戸（前年同期比16.7%減）となり、このうち不燃建築着工面積は8,587万㎡（同8.0%減）とマイナスの伸びとなった。ちなみに昨年の同伸び率は、おのおの6.5%増、9.2%増であった。

企業の設備投資は、資金調達不安感から縮小ないしは手控える兆候がみられ（表-1参照）、これによる民間非居住建築の伸びの鈍化と、シーリング工事に関連の深いRC造の12.7%減、SRC造の10.8%減など不燃建築量の減少が懸念される状態である。下半期も建築受注の伸びが余り好調でないことから考えると（表-2参照）、緩やかながらも減少していくのではないかと予測される。

○シーリング材出荷動向

通商産業省窯業建材課統計資料（後頁掲載）によると、本年第1四半期（1～3月）のシーリング材の総出荷量は22,870tと前年同期比5.1%増（前年伸び率5.8%増）となっているが、第2四半期（4～

業種別設備投資額

業種	昭和63年	平成1年	平成2年	平成3年
全産業	32,901,077 (21.7)	41,625,838 (26.5)	48,031,146 (15.4)	51,430,451 (7.1)
製造業	12,636,106 (27.3)	16,341,079 (29.3)	19,257,004 (17.8)	21,300,345 (10.6)
非製造業	20,264,971 (18.5)	25,284,759 (24.8)	28,774,142 (13.8)	30,130,106 (4.7)

表-1

国内・海外別工事種別受注高表 (単位：百万円、%)

区	分	平成2年6月	平成3年6月	前年同月比
総計	額	2,301,451	2,067,143	▲ 10.2
建築	住宅	344,038	253,083	▲ 26.4
	非住宅	1,209,527	1,223,684	▲ 1.2
	小計	1,553,565	1,476,767	▲ 4.9
	土木	747,886	590,376	▲ 21.1
国内	住宅	337,422	247,464	▲ 26.7
	非住宅	1,166,735	1,195,743	▲ 2.5
	小計	1,504,157	1,443,207	▲ 4.1
	土木	737,653	557,915	▲ 24.4
海外	住宅	6,616	5,619	▲ 15.1
	非住宅	42,792	27,941	▲ 34.7
	小計	49,408	33,560	▲ 32.1
	土木	10,233	32,461	217.2

表-2

年月	生産数量 m ²	対前月	対前年同
		(期)比 %	(期)比 %
3. 1	313,893	81.3	108.0
2	341,919	108.9	102.6
3	338,774	99.1	87.9
4	280,664	82.8	82.3
5	306,307	109.1	89.3
6	325,971	106.4	84.3

表-3

6月)は23,586tと同4.4%(同9.6%増)の伸びにとどまっている。基材別でもポリサルファイド系が4.6%増(同10.8%増)、変成シリコンが19.4%増(同21.7%増)と前年以下の伸び率にとどまっております、なかでもアクリル系は第1、第2四半期とも前年同期比7%減と落ち込み、最大の使用箇所であるALC板の用途減もあった事が原因と予想される(表-3参照)。

下半期の出荷も、前出のとおり不燃建築の減少が予想されることから、昨年のような後半の盛り返し(第3四半期13.7%増、第4四半期12.0%増)は困難と予想され、通年でも4年連続で示した2桁の伸びが本年は苦慮すべき状況にあるいえる。

○まとめ

今回の下半期の展望は、ここ数年と比較して非常に厳しいものとならざるを得ない。将来展望の材料となる経済動向、統計資料等は多種多様あり、一部の数字だけで全てを予想することは難しい。しかし冒頭に記した建築着工戸数の大幅減(16.7%減)はやはり気掛かりといえるが、増改築工事の増加は確実と予想され、また都市周辺の地域再開発事業や各

種のリゾート開発・プロジェクトの継続、公共事業の増加は間違いのない。シーリング材生産推移グラフ(表-4)の傾向からも、今後もある程度の高原状態は期待できるであろう。

しかしながら取り返しのつかない時期が来るかもしれないと予想できる今こそ、業界全体で数年来の懸案事項である受注価格の改善、それに伴う材・販・工どもの採算性の良化。また技能工不足の解消、労働生産性向上のための技術開発などに対し取り組みねばならないといえるであろう。当展望記事が警鐘となれば幸いである。

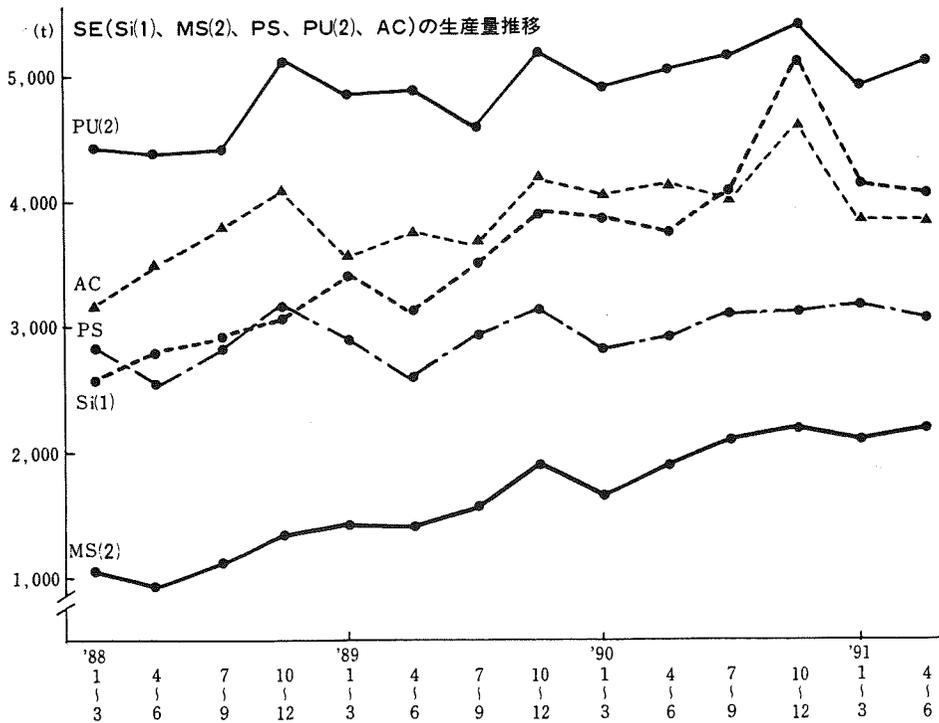
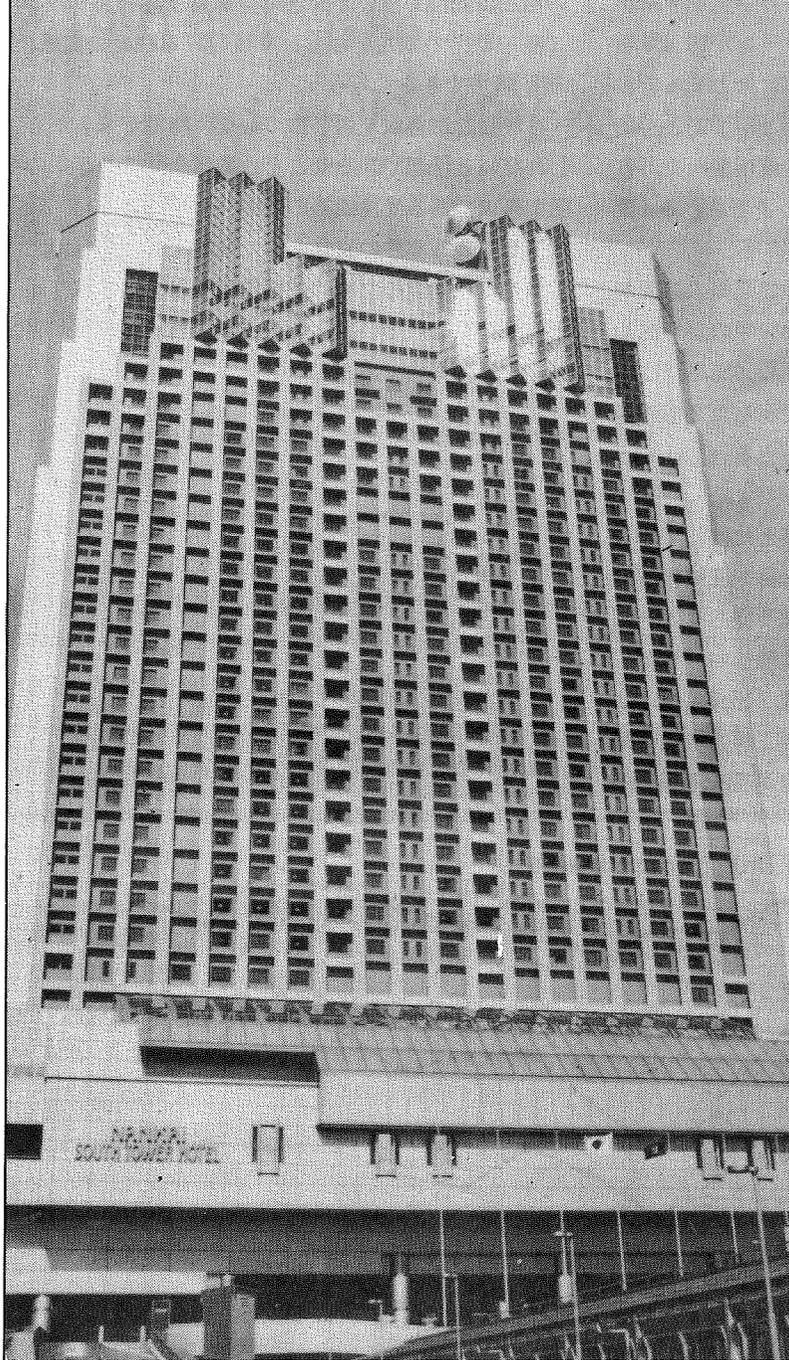


表-4



施工品質で
貢献

セカイヨー
建築用
2成分形
シーリング材

セカイヨーシーラー
TH (ポリサルファイド)

MS (変成シリコーン)

PU-213 (ポリウレタン)



世界長株式会社

本社 / 〒663 兵庫県西宮市津門大筒町8-39 Phone(0798)26-5724(化成品事業部)
営業所 / 名古屋(052)722-3301 広島(082)295-0371 福岡(092)474-5582
東京(03)5995-3010 前橋(0272)23-5675 仙台(022)295-7051
札幌連絡所(011)221-2102

乙種防火戸用シーリング材として

シリコーン系シーリング材が認定を受けました

乙種防火戸用シーリング材として、JIS A 5758（建築用シーリング材）に規定するシリコーン系のものが用いられることになりました。

平成2年5月31日付けで建設省告示第1125号が公布され、乙種防火戸についての試験方法が変更になりました。ポイントは国際基準であるISO基準の防火戸試験方法と整合を図った点にあり、加熱曲線が、防火加熱曲線から耐火加熱曲線へと変更になりました。

当、日本シーリング工業会としてアルミ防火戸認定推進協議会に対しましてシーリング材の提供という形で協力してきました。本年10月1日よりアルミサッシの乙種防火戸が通則認定主体となりシーリング材は、前述の通りシリコーン系のものが用いられることになりました。

今回は、アルミ防火戸認定推進協議会の作成した資料を掲載させていただきます。

今以上に望まれる防火対策

アルミニウム製乙種防火の通則認定化実現

最近の市街地における建物の過密化により、火災に対する対策がこれまで以上に重要視され、建物自体の不燃化が一層推進されてきています。また、建築物の防火対策の第一の目的である、火災の拡大及び延焼を防止し避難の安全性を確保するために、乙種防火戸の使用率も高くなっています。

このような背景から、この度、建設省住宅局、建設省建築研究所ならびに通商産業省生活産業局のご指導のもと、アルミニウム製乙種防火の通則認定化が実現することになりました。

今後、建築物の開口部における防火性能の向上の追求がより強く望まれますので、乙種防火戸通則認定の運用団体としてアルミ防火戸認定推進協議会が、安定した防火戸の供給、認定企業の拡大など防火戸対策の推進に努めてまいります。

アルミニウム製乙種防火戸が個別認定から、通則認定主体に変わります。自主管理する業界団体「アルミ防火戸認定推進協議会」がここに誕生しました。

通則認定は、当協議会の会員が提供する防火戸を対象としたものでありますが、その運用に当たっては申請団体である当協議会が管理責任を果たすことが前提となっております。「自ら約束をし、それを実行する」ことが求められ、当会だけでなく業界全体として防火戸の品質についての社会的責任はますます重くなってまいりました。

防火戸の品質管理責任は、単に製品についてのみでなく建築の取付けに至るまでを含み、使える状態にして使用者にお渡しするまでが製作者の責任であり、そこには防火戸の専門家としての正しい使用法について提言することまでが含まれていると考えべきであります。

この度の通則認定は地上4階建以上の建築物を対象とした「非木造建築物用防火戸」に限定されています。もとより防火戸はこれ以外に多くの建築分野を対象として持っていますが、非木造建築物用防火戸は実績も多く、受注から製作・取付けに至る工程間がシステムとしてほぼ完成しているため、第一歩として選ばれたものであります。

通則認定と個別認定では、どう違う？

◇通則認定

通則認定とは、例えば石膏ボードやスレートのように、材料・製法ともにメーカーの違いによる品質的なバラツキが無く、「普遍的、または標準的なもの」であることが認められる場合においてのみ、建設大臣がそれらの製品を自主管理する業界団体に対して認定をするものである。アルミニウム製乙種防火戸に関する通則認定は、同一使用目的を有する製品群について、個々の企業ではなく、これを統括する業界団体（アルミ防火戸認定推進協議会）の管理責任のもとに定めた乙種防火戸としての仕様・基準を建設大臣に申請し、認定を受けるものです。なお、通則認定という方法がとられている主旨は次の通りです。

- ①業界全体による品質管理、施工管理等の自主管理
- ②認定内容の標準化、適正化
- ③申請等に係わる事務処理の簡素化

◇個別認定

個別認定とは、通則認定を受けるための団体が無い場合、また製品が個々に特長を持ち、企業群として統一できないもの、または、その他の事情により通則認定となし得ない場合に、個々の製品ごとに、それぞれ企業単位で申請して乙種防火戸の大臣認定を受ける制度です。なお、この申請を受けるためには、製品ごとに

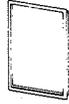
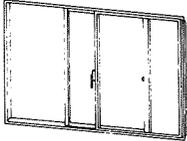
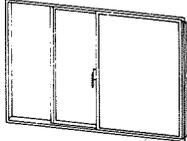
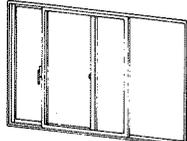
- ①指定試験機関に図面・試験体2セット等を提出
- ②試験成績により(財)日本建築センターに性能評価依頼
- ③性能評価により、建設省に認定依頼の課程を経て認定書の交付を受けることになります。

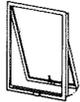
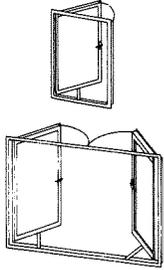
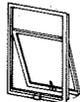
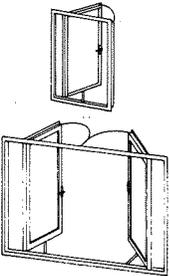
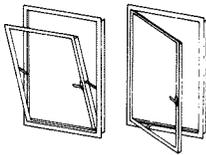
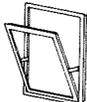
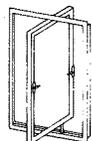
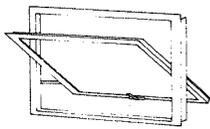
建設省告示第1125号により乙種防火戸の試験方法が変わりました。

平成2年5月31日付けで「建築基準法施工令第110条第1項第5号及び第2項第6号の規定に基づき甲種防火戸及び乙種防火戸と同等以上の防火性能を有するものを指定する件（建設省告示第1125号）が公布され乙種防火戸についてはこれまでの試験方法

（昭和34年建設省告示第2546号）を廃止し新たな技術開発や市街地の火災の性状の変化に対応しかつ、国際基準であるISO基準の防火戸試験方法と整合を図った試験方法に変更されました。

防火戸の基本形式と大きさは下表の通りです

開閉形式	名称/例 図
はめ殺し	<p>はめ殺し</p> 
引 き	<p>片引き</p> 
	<p>引込み</p> 
	<p>引違い</p> 

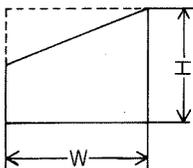
プロジェクト	突出し 	開き (片開き 両開き)	開き 
	すべり出し 		たてすべり出し 
	外倒し 		ドレーキップ 
	内倒し 	回転 	
			よこ軸回転 

◇防火戸の基本形式

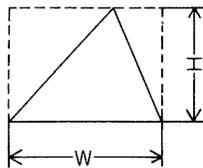
面積は、幅 (W) と高さ (H) の積とするが、上下左右の寸法が異なるときや円形、だ円形の場合には、図に示すように内法寸法が図形に外接する、点線で示す矩形の面積とする。

面積のとり方

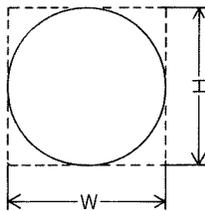
台形



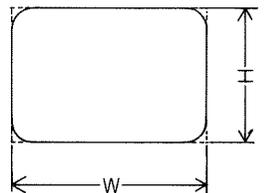
三角形



円形



四隅丸形



防火戸の必要な建物の地域と種類

防火地域と準防火地域において、その中での延焼の恐れのある部分にある開口部は防火戸を設置することが義務付けられています。なお、防火地域、準防火地域以外の特殊建築物でも、防火戸を必要とする場合があります。

アルミニウム製乙種防火戸通則商品の適用範囲は地上4階建以上の建築物に用いる防火戸を対象とします。

すべてのアルミサッシが通則認定となるわけではありません

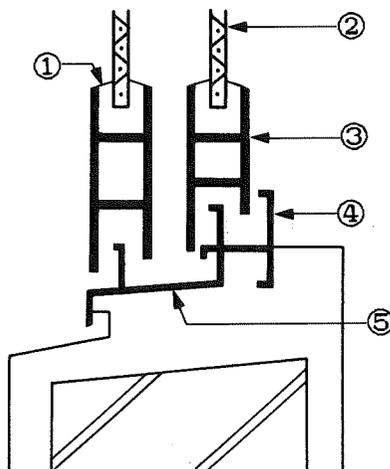
今回通則認定になったものには、非木造建築用サッシのうちで、現在までに個別認定を取得している防火戸のうち、使用頻度も高く共通部分を多く持っている製品及びその組み合わせ製品が通則認定製品として指定されました。なお、防火戸の枠見込み寸法は70mm以上です。

アルミ防火戸認定推進協議会で定める標準仕様書について

通則認定を受けるにあたって、当協議会では、建築基準施工令第110条第2項第6号に基づいて建設大臣が認定する上での根拠となる標準仕様書を建設省の指導のもとに作成し、認定を受けています。したがって、当協議会の正会員が通則認定を受けるにあたっては、仕様書に合致する製品であることが前提条件となります。なお、仕様書では、適用範囲・用語・種類・大きさ・主構成材・副構成材・構造・表面処理・取付け施工及び施工管理ならびに表示といった各項目ごとに細かく、かつ厳しい内容で規定し、それによって審査をしますので、通則認定として認定された防火戸については、これまで以上に安心して利用いただけることとなります。なお、代表的な仕様規定を以下に列記します。

①グレイジング材（グレイジングガasketは当協議会が規定する乙種防火戸用ガasket）シーリング材はJIS A 5758に規定するシリコン系のものとす

- ② ガラスは角・菱網入板ガラス
- ③ 戸主要部の肉厚は1.8mm以上
- ④ 枠主要部の肉厚は1.5mm以上
- ⑤ 材質はJIS H4100に該当するA6063Sです。



通則認定を受けるためには厳しい条件があります

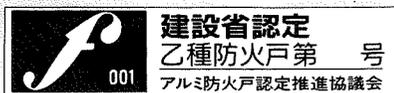
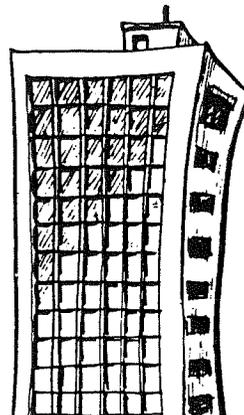
アルミニウム製乙種防火戸の通則認定は業界団体（アルミ防火戸認定推進協議会）を介して会員企業に対して与えられるものですが、その通則認定を受けることができる企業の条件は、当協議会の正会員で、かつ協議会で定める仕様書に適合する防火戸を扱う企業であり、さらに下記①～④の全てに適合する企業です。

- ①建築設計図書に応じて施工図を作成する能力を有していること
 - ②施工図に基づいて自社が管理する工場（協力工場を含む）で製作すること
 - ③製作から取付けの全工程に関して、当協議会の定める品質管理規定に従った品質管理を実施していること
 - ④建築現場での取付けに当たり当協議会の定める施工管理規定に従った取付け施工の管理をする能力を保有すること
- など、企業の品質管理責任を遂行できる能力が条件となっています。以上のように、厳しい製品仕様を

規定するとともに、一般サッシに比べて、肉厚その他部材断面や付属部品等がさらにグレードアップし、製品のあらゆる項目についてこれまで以上の安全性と品質管理を追求しています。

信頼できる通則認定品であることを示す 証紙の発行について

当協議会が通則認定品として認定を受けた防火戸には、下記のような証紙を貼り付けますので、一目で乙種防火戸認定品であることが明確になります。なお、証紙の貼り付けは、あくまでも公正な商品品種のみに限定するものであり、充分なる信頼をいただけます。



未来へ、いい仕事。



Riken

建設大臣許可(般 63) 第9923号

一級建築士事務所東京都知事登録 第20035号

未来へ、いい仕事...

理建工業株式会社

- シーリング工事
- 店舗&リフォーム

●本社:130東京都墨田区太平4丁目22番4号 PHONE(03)3622-4081代表

●横浜営業所:220横浜市西区岡野2丁目15番8号 PHONE(045)313-1371代表

開催案内

21世紀へつなぐ

接着剤・シーリング材 京都国際会議

— 技術の進歩と環境との調和 —

平成4年5月25日～27日

京都国際ホテル（京都市中京区油小路二条下ル）

主催 日本接着剤工業会・日本シーリング工業会

共催 ASC・FEICA

ぜひ、この機会をとらえ、皆様方の今後の進むべき方向を見出し、多くの友人を得る会議にしていただければ幸いです。

皆様方のご参加を心より希望いたします。

開催にあたって

大会準備委員長 田中義信

今、技術革新の波は急激な勢いで世界中の産業や、生活、そして文化まで変えようとしています。接着剤、シーリング工業においても、その進むべき方向を明確にし、行動を起こさなければならないと思います。しかしながら、一方、緑の破壊、大気汚染、水質汚染、産業革新とは逆行しているのが現状です。今回、日本接着剤工業会・日本シーリング工業会は、初めて日本（京都）で国際会議を開きます。この会議はわれわれ以外にASC（米国）、FEICA（ヨーロッパ）がそれぞれ2年に一回、各地域持ち回り方式をとり、それぞれの団体が主催して行うものです。

この機会をとらえ、「技術の進歩と環境との調和」をテーマに話し合いを行います。また、この期間中のもうひとつ大切なことは、世界のわれわれの仲間との親睦を深めるための行事でもあります。



日 程

5月25日（月）

10:00～10:30 開会式

10:30～11:30 基調講演

11:30～12:00 特別講演

12:10～13:40 昼食

14:00～17:00 技術部門（輸送）

一般部門（産業廃棄物、物流、教育開発、PL、環境規制）

14:00～16:00 レディース・コース
（生花、点茶）

18:00～19:30 ディナー（立食）

20:00～21:00 オプション（京都芸能）

5月26日（火）

9:00～12:00 技術部門（建築・土木）

〃（電気・電子）

10:00～18:30 卓上展示

12:00～18:30 フリー（工場見学会あり）

18:30～21:30 ディナー（バイキング）

5月27日（水）

9:00～12:00 技術部門（包装・使い捨て製品）

一般部門（パネルディスカッション＝物流、環境）

12:10～13:30 さよならブッフェ

発表論文

[基調講演] 演題未定 東レ(株) 伊藤会長

[特別講演] 接着科学の進歩と環境との調和

日本接着学会 宮入会長

[技術部門]

1. 輸送

新技術を主眼として、3地域のチーム発表とし、他に原料・機器類とする。

- (1) 航空機・宇宙機器 (アメリカ)
- (2) 自動車 (日本)
- (3) 車輜 (ヨーロッパ)
- (4) 輸送関係の原料・機器類 2件

2. 建築・土木

補修、環境美化を主体に、3地域のチーム発表とし、他に原料・機器類とする。

- (1) (日本)
- (2) (ヨーロッパ)
- (3) (アメリカ)
- (4) 建築・土木関係の原料・機器類 2件

3. 電気・電子

新技術を主眼として、3地域のチーム発表とし、他に原料・機器類とする。

- (1) (ヨーロッパ)
- (2) (アメリカ)
- (3) (日本)
- (4) 電気・電子関係の原料・機器類 2件

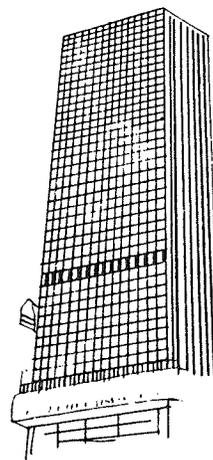
4. 包装・使い捨て製品

素材の変化に伴う接着剤製品、リサイクルを主眼として、3地域のチーム発表とし、他に原料・機器類とする。

- (1) (アメリカ)
- (2) (日本)
- (3) (ヨーロッパ)
- (4) 包装・使い捨て製品関係の原料・機器類 2件

[一般部門]

- (1) 産業廃棄物 (日本)
- (2) 教育・開発 (アメリカ)
- (3) 製造物責任 (アメリカ)
- (4) 環境 (ヨーロッパ)
- (5) 物流 (日本)
- (6) パネルディスカッション



日本、アメリカ、ヨーロッパのパネリストによる。

- ①物流
- ②環境

[問い合わせ先]

日本接着剤工業会

東京都千代田区内神田1-15-10 福島ビル

☎ 03-3291-3303 FAX 03-3291-3305

一般案内

期 日 平成4年5月25日(月)~27日(水)

場 所 京都国際ホテル

(京都市中京区油小路二条下ル)

公用語 日本語、英語 (同時通訳)

展 示 5月26日会場に隣接して接着剤、原料類、機器類などの卓上展示を終日行います。

商談コーナー

接着剤、シーリング材、各種原材料及び機器類等の商談を行うコーナーを設けます。

見学会 工場見学 (オプション)

宿 泊 京都国際ホテルに特別料金で宿泊できます。

登録料 主催団体会員及び協賛団体会員

1名 9万円

その他 1名10万円

同伴家族 1名 4万円

シーリング材テーマは10題

1991年度建築学会大会、

東北学院大学(仙台)で開催

1991年度の日本建築学会大会が9月12日から14日までの3日間、仙台市泉区の東北学院大学・泉キャンパスを主会場に開催された。

12日の開会式で幕を開けた大会は、天候には恵まなかったものの、学術講演会、シンポジウム、パネルディスカッション、展示会など興味深い行事が各会場で賑々しく挙行された。

増加する乾式工法から、シーリングを主テーマとする講演は昨年(9題)を上回る10題を数え、SSG構法や乾式石張りカーテンウォール関連の発表が聴講者の耳目を集めた。

シーリング関連の発表は以下の通り(講演者には所属を記載)



[シーリング材・乾式石張りカーテンウォール]

* S S G 構法における構造接着剤の非破壊試験法に関する研究

(その1, 超音波探傷法による基礎実験結果)

○望月強(日本板硝子)・石垣修亨・吉池祐一・中村博栄

* S S G 構法の信頼性に関する研究

(その2, 疲労性状の評価)

○小野正(清水建設)

* ストラクチュアルグレーディング工法用シリコーン・シーラントの研究

(その8, シリコーン・シーラントを利用した引き違い戸)

○坂井正一(セントラル硝子)

石崎潑雄・椎名健介・小杉満

* 建築用シーリング材の耐久性

評価に関する研究

(その1, 複合劣化における加熱日数及び繰返し回数の影響)

○加藤正守(千葉大学)・吉池祐一

* 建築用シーリング材の接着耐久性に関する研究

(その2, 温水浸漬試験における温度の影響について)

○吉池祐一(千葉大学)・加藤正守

* ガラスカーテンウォールに関する研究

(その3, 熱硬化型シリコーンの耐久性試験)

○岡本肇(竹中工務店)・中山文雄・大澤悟・藪下善弘・白石章二

* 層間変形に対するサッシとガラスの最適シーリング目地設計方法の研究

○寺内伸(鹿島建設)・大森信次
* 乾式石張りカーテンウォールに使用する石材の安全性に関する研究

(その1, 物性及びほぞ溝強度試験)

○河岡道顕(東急建設)・竹下輝

・大岡督尚・新川時弘・井上一則
* 乾式石張りカーテンウォールに使用する石材の安全性に関する研究

(その2, 実大衝撃性能実験)

○竹下輝(東急建設)・河岡道顕・新川時弘・井上一則

* 乾式石張りカーテンウォールの実験的研究

(その2, 面内剛性と層間変位追従性)

○田中豊治(竹中工務店)・萩原忠治・佐藤秀雄

日本建築学会

大会ルポルタージュ

仙台駅を基点に、森の都を南北に走る市営地下鉄の北の終点“八乙女”。普段は買い物の奥様と学生しかいないであろうこの駅の正午に、記者以外にもスーツ姿が目につく。

「東北学院大学までお願いします」——どうやら記者の前でタクシー待ちをしていたスーツも、そのまた先客のスーツも同じ目的のようである。雨の中車は同じ方向へと向う——15分後、校門の前で客を降ろした3台は、客待ちの必要なく新たなスーツを乗せて走り去った。駅に行くのである。“学会景気?!”。そういえば心得顔の運ちゃんは、「とうほく」と聞こえたあたりで車をスタートさせたようだった。

高台に並ぶコンクリートの近代的な校舎が1. 2. 3. 4棟見える。奥に進むとまだ見えるかもしれない。広いグラウンドに、優に100台は大丈夫そうな駐車場。緑も多い。土地が豊富なのである。授業を終えたのであろう学生の顔も、おっとりした顔が多いような気がするから不思議である。擦れ違いつながら緩やかな坂道を上って行く。

大会は盛況だった。おかげで購

入を予定していた学術講演梗概集が、売り切れで買えなかった程である。特に9月13日、2号館で開かれた「屋上の用途の展開は材料開発になにを求めるか」をテーマとするパネルディスカッション(PD)は、岩井孝次氏(鹿島建設)を司会に7名のパネラーが、“自然との対話(屋上の植栽, 緑化)”, “環境保全”, “運動施設”などの新しい需要がいわれている陸屋根について、材料開発から設計・施工までの諸問題についての意見を交換し、約200名の参加者の注目を集める今大会の目玉となった。PD終了後、挨拶に立った筒井正典氏(大林組)の「緑の都・仙台で、今回の屋上緑化等のテーマは有意義であつた」という言葉が印象に残った。

来た道をそのままなぞって帰る。帰りの運ちゃんは話し好きである。「お客さんどこから来たの?へえ—東京から・・・, ところで今晩は泊まるの?仙台は良いところでしょう」

とどまることがない。

—東北学院で何をやっているか、ご存知ですか?—

「昨日今日と多いけれど、何をやっているかは知らない。何やっ

てるの?」

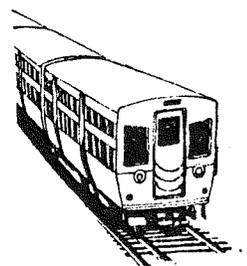
—建築の学会をやっているのです—

「ふうーん、ところで国分町には行った?安くていいよ」

どうやら建築にはあまり興味がないらしい。

仙台一の歓楽街の説明が続き、間もなく車は八乙女のロータリーに到着した。

仙台駅まで地下鉄で戻り、おみやげの笹蒲鉾を仕入れる。午後8時、プラットホームへ新幹線が入ってくる。仙台から乗る人はいても、下りる人は少なかった。遅い時間にも拘らず座ることはできなかった。案の定、おっとりとした顔はいなかった。



- 屋上防水工事
- 補修, 改修工事
- シーリング工事
- ライニング工事

責任施工

- 防水及補修全般
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

全国外壁補修工事業協同組合連合会理事
 中国シーリング工事業協同組合員
 全日アスファルト防水事業協同組合員
 小野田リフリート工法技術組合員
 日本エムテイ樹脂工事業協同組合員
 T V S 赤外線建物診断研究会会員
 サ ン ス タ ー 会 会 員

株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
 TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739



使いやすさと信頼性の調和 タイルメントの充てん剤

S-100
(シリコン系)

S-200
(変成シリコン系)

S-300
(ウレタン系)

S-500
(アクリル系)

S-700
(油性系)

S-101
(シリコン系)

S-202LM
(変成シリコン系)

S-303LM
(ウレタン系)

S-600
(ブチルゴム系)

アクリルコーク
ジャンボ
 (アクリル系)



株式会社 **タイルメント**

本社 / 〒453 名古屋市千村区宿跡町1の58 TEL (052)412-5300(代) FAX (052)411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌営業所 ■横浜営業所 ■北陸出張所

不忍池界隈

加藤正守

二階バス涼し車窓に寄席噺子
 炎天下本牧亭は壊されて
 不忍の碑のいろいろに蓮嵐
 酒女封じし絵馬の涼しけれ



現在、定席と呼ばれている寄席は三軒ある。上野鈴本演芸場、浅草演芸ホール、新宿末広亭である。この他浪花節を中心とした木馬亭（浅草）がある。

鈴本演芸場は、明治、大正、昭和と時代の流れの中で幾多の変遷を経ながら、昭和46年、現地に5階建てビルの3階・4階に開かれたものである。入口には御轟頂からの幟が立ち並び、何処からともなく寄席噺が聞えてくる。その前からは上野-浅草間を2階建の真紅のバスが運行されており、浅草の縁日の日もなればなかなかの賑わいである。

二階バス四万六千日の人となる 正守

本牧亭が取壊された。昭和23年以来、講談を中心とした定席として、時には落語の独演会などが演じられ、下足札を渡す唯一の寄席として多くの人々に親しまれていた本牧亭が取壊されてしまった。時代の流れなのであろうか。

定席は少なくなったが、ホール寄席、地域寄席はそれなりに定着し、新しい寄席が生まれつつある。

不忍池の名称は、すでに室町時代からあったらしい。弁天島の参道にある「不忍池由来碑」によれば、「…江戸幕府が、西の霊場叡山に対し、対照させて東叡山寛永寺を営むや、開祖慈眼大師天海大僧正はこの池を琵琶湖に見立て、竹生島になぞらえて、新

島を築かせ、弁天島を建てた。この景観は江戸名所図絵の「巻」に記されている。

弁天島と、その周辺にはいろいろの石碑が建てられている。長唄碑、八橋検校碑、扇塚、ふぐ供養碑、スッポン感謝塔、鳥塚、めがね碑、蓮花歌碑などである。蓮花歌碑は、文政十一年に建てられたもので、当時の不忍池をあらわすものにふさわしい石碑である。

色々に花はさけどもくれ竹の

それにもまして蓮のしら糸

上野広小路から不忍池の入口近くに蔵造りの下町風俗資料館がある。1階には、表店の商家（鼻緒屋）と長屋の駄菓子やと銅壺屋があり、路地には共同井戸、厠、その奥にはお稲荷様が祀られており、下町の風情や気質を知ることができる。2階には、化粧道具、遊び道具、芝居資料、風俗などが展示されている。

酒と女そして博打を封じた絵馬が飾られている。泥絵具で画かれた鮮やかな絵馬は、当時の女たちの哀しみと願いが込められているのであろう。

不忍池界隈は、いまでも下町情緒が残されている。

（千葉大学建築学科助教授）

日シ工協組連 事務所移転

浜松町から墨田区へ

日本シーリング工事業協同組合連合会（山本勇会長）は8月7日、本部事務所を従来の東京・港区浜松町から東京・墨田区に移転した。

新住所：〒130 東京都墨田区亀沢
1-23-1 角井ビル2階
①03 (3626) 7361, FAX
同 (3626) 7362

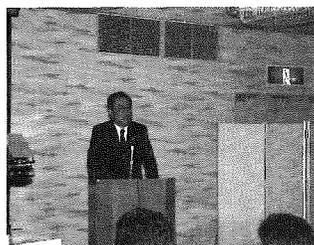


SSG構法をテーマに 技術講習会を開催

東シ協技術委員会

東日本シーリング工事業協同組合（水上洋理理事長）は9月9日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷（私学会館）で「SSG構法の現状」をテーマに、組合員約60名、商社、ガラス工事店約100名を集め、技術講習会を開催した。なお当工業会からも多数の会員が出席した。

同講習会は同協組技術委員会の企画により①シーリング編②ガラス編の2編に分けて行なったもの。当日はまず主催者を代表して同協



挨拶する児玉副部長

組技術事業部・児玉保男副部長が「建築業界は日々、技術の推進、革新を目指し研鑽を積んでいる。

屋上利用のPDを開催

建築学会大会

1991年度建築学会大会の目玉である「屋上の用途の展開は材料開発になにを求めめるか」をテーマとするパネルディスカッション（PD）が、9月13日午後1時から東北学院大学・泉キャンパス2号館245室（構造H室）で行なわれ、運動施設としての利用、植栽による環境保全などの利用が活発になされている陸屋根の材料の開発や施工・納まりなどの問題点や課題が明らかにされた。



PD風景

シーリング業界もこれに遅れをとらぬよう勉強をしていきたい。熱心な聴講を望む」と挨拶した。引き続き講習に入り、①では同協組技術委員会・服部健士副委員長が、(1)SSG構法とは(2)SSG構法の現状（ポイントと問題点）(3)SSG構法の管理ポイントーについて、②では日本板硝子・石垣修亨首席技師が、(1)SSG構法の作り込みのポイント(2)SSG構法に用いるガラス、スパッタリング熱線反射ガラスと他のガラスでは、何が違う？(3)SSG構法の現状（ポイントと問題点）、工場シール（工場ラインでのSSGシール）の実例ーについて講習を行ない、参加者全員が熱心に聴講した。なお終了後は質疑応答が行なわれた。

PDは、岩井孝次氏（鹿島建設）の司会、土田恭義氏（フジタ）の副司会、永橋進氏（戸田建設）の記録、パネラーとして鶴田裕氏

(大成建設), 三木富士夫氏(屋上開発研究会, ミサワホーム), 奥水肇氏(明治大学農学部教授), 福岡孝純氏(日本女子体育大学招聘教授), 長田雅夫氏(日本設計), 松本洋一氏(清水建設), 金子誠二氏(ジャパンターフグラス)の各氏が参席し, 主旨説明やそれぞれの専門家の立場からの意見, 報告を行なった。

改修工事実態調査の結果を公表

BELCA

(社)建築・設備維持保全推進協会(略称・BELCA, 吉野照哉会長)はこのほど, 昨年7月に会員会社を対象に行った「改修工事に関する実態調査」の概要の一部を発表した。

同調査は過去3年以内(施工中を含む)の事例を対象としたもので, 333件の回答をまとめたもの。これによると, 建物の所在地は東京を含めた関東圏242件(72.7%), その他91件(23.3%)で, 構造的にはRC造167件(50%), SRC造140件(42%), S造22件(7%)となっている。次に, 延べ面積では, 5,000㎡以上169件(51%), 無回答27件(8%)で, 階数では1~5階建133件(40%), 6~11階172件(52%), 12階以上23件(7%), 無回答5件(1%)となっている。

改修工事の実施時期では, 全ての事例が初めての改修工事とは限らないものの, 築後25年間の事例が順次多くなっており, 大部分の改修が25年以内に実施されている。改修の動機については(複数回

答), 設備システムの機能・性能の向上が146件(16%), 設備機器およびシステムの劣化141件(1

5%), 主要構造部材の劣化132件(14%), 建築イメージの向上111件(12%)などとなった。

改修の部位では, 建築は内装, 外装, 構造躯体の順で, 設備では昇降機を除き全般にわたっている。

また改修施工上の問題点としては

- ①施工期間における建物の機能をどうするか
- ②居住者と施工日時の調整
- ③安全性の確保
- ④施工中の騒音等の問題などがあげられた。

新テキストでリフォーム研修

建築保全センター

(財)建築保全センターが, 昨年6月に(社)日本塗装工業会より実施を移管され行なっている「建築仕上げリフォーム技術研修」に使用されるテキストが, さる6月(東京), 7月(大阪)の研修より新たにされた。これまでの研修では日塗装時代の研修テキストをそのまま使用していたため, 今回の新テキストの使用で, 名実ともに保全センターの実施研修となったといえる。

同研修は平成元年1月, (社)日本塗装工業会が, 建築物の耐久性向上を目的とするストック建築物の維持, 保全に対する改修工事を適切に行なうためには, 専門工事業界の仕上げ部門の診断→施工計

画→施工→施工管理の改修技術を総合的に担当する改修施工技術者の育成が第一であるとして開始した。保全センターへの移管はこの制度を塗装工事業者のみのものでなく, 公の制度として社会評価と実用性を高めるべく建設省の指導で行なわれた。

新テキストは上巻(改修概論, 調査・診断), 中巻(改修設計, 同施工, 施工管理法), 下巻(法規)の3巻で構成されており, 改修工事の必要性など時代の背景から必要な法規までを網羅する内容となっている。

●本部事務局だより

関東は、不順な夏、そして台風が多かった仲秋も過ぎて秋たけなわです。

まだ暑い時期の8月30日に、昭和59年から7年間も勤務された木村事務局長が退職されました。長い間本当におつかれさまでした。替って、8月1日から山内が事務局長に就任いたしました。昭和52年から理事や技術・広報・検定の委員として工業会に入入りし、多いときには月に4～5回も事務所へ顔を出したこともありましたが、まさか事務局の机に座ろうとは思いませんでした。業界の事情には多少とも明るいつもりですが、総務や庶務、特に経理の仕事には全く無縁でしたので、前事務局長のように上手に事務処理ができるかどうか不安です。よろしくご支援下さい。なお長い間不在であった事務局員も、やっと補充がつき7月1日から勤務しております。といっても水・金曜の週2日(10～16時)ですから、まだまだ手薄です。彼女は近藤美保さん、現代



的な美女です。事務局へ御用のおりは、水曜か金曜にどうぞ。

10月18日には、第256回理事会を何年ぶりかで、東京を離れて大阪で行い、併せて大阪支部役員との懇談会をもちました。来年5月に開催される“接着剤・シーリング材京都国際

会議”を控えて時宜を得たものであったと思います。

さて、その国際会議ですが、準備もピッチをあげてきました。技術委員会では、技術セッション建築・土木発表論文の目次が決まり、具体的作業に入っています。また、広報委員会ではカタログ集に綴り込んだり、当日配布する工業会PR用の英文パンフレットの作成に取り組んでいます。これから来春まで、様々の準備に追われることになるでしょう。事務処理が手薄にならないように努力したいと思います。

●北海道支部の動き

山々が色づき始め、秋めいてきた北海道です。

今夏も空前の観光ブームで、道内主要都市へ、観光地は飛行機、ホテルの予約もままならない状況が続いています。このため東京から出張で来道される方、あるいは、札幌から道内主要都市へ主張される方は、ホテルの手配に苦労されているようです。

さて当支部活動は、6月24日に北シ協組との合同による安全パトロール、共同検査を新千歳空港ターミナルビルを対象に実施しました。今後工事最盛期を迎え数現場を予定しています。

7月10日には組合三役と工業会三役による懇談会を実施、双方から積極的な意見交換がなされました。8月9日には札幌グランドホテルで、納涼をかねて支部例会を開催し10社参加のもと各情報交換

と意見交換を行いました。

●仙台支部の動き

朝夕が涼しくなり、そろそろ紅葉の季節となってきました。今年は台風が多く、東北地方でも被害が甚大でした。

ここ数カ月におきましては、特に目立った支部活動はしておりませんが、シーリング業界も需要期に入りますので、10月以降下期につきましては、役員会、支部会を開催し、コミュニケーションの強化をはかる予定にしております。

●東京支部の動き

今年の夏は例年にない過ごし易い夏であり、又短い夏でした。建設業界の夏休みも、各産業界同様長期の夏期休暇となり、忙しかった業界の久し振りの休暇で鋭気を養ったことと思います。

支部役員会を9月13日に開催し、市場懇談会の開催日程を含め打合せを行ないました。

東シ協平成3年度の諸事業計画に合わせた、協力体制及び7日会との協調体制づくりを行なう為に、現在支部の抱えている問題を整理し、支部と7日会にて10月にMD会を開催し、配送問題、土休問題、市況問題等の話し合いを行ない、配達経費、人手不足に対する対応を東シ協の協力を得て進めて行きたいと思ひます。

●名古屋支部の動き

8月27日、岐阜長良川ホテルで中シ協の総会があり、続いて行なわれた懇親会には私ども賛助会員も招待を受け、多数が参加し親交を深めることができました。理事長を始め、多数の理事さんが留任と決まり、スタートされました。

引き続き9月9日には、恒例の名古屋支部と中シ協との共同行事について打合せを行ない、中シ協からは理事長と4名の理事に出席頂きました。

その中で技術管理士の名称、非組合員、シーリング材の使用済み容器の処理が話題となりました。

使用済みの容器の処理は確実に大きな問題へととなりつつあります。既設建物の改修ともなれば100%自前処理が義務付けられています。私どもメーカー側への新しい要求となる日が近いとの印象を受けました。

●大阪支部の動き

去る8月22日、なにわ会(資材商社の団体)幹事と直販メーカー(日シ工役員も参加)との懇談会が開催されました。

直販メーカーから「関西の資材商社は、他地区と違い、メーカーの系列色が強く、直販しているメーカーが参入しにくい環境である」等の意見が出され、なにわ会内部で受け入れ体制を議論してもらったこととしました。又、今後この種の会合を頻繁に開催し、資

材商社の直販メーカーに対する不信感をなくしたり、情報交換することで合意しました。

4回目の市場懇談会(材販工各団体の役員)も同日に開催、関シ協側からは、K商事問題が解決したことや、組織拡大に向けて、関シ協が府県別に再編すべく、準備していることが発表されました。

9月18日には、日シ工ゴルフコンペを関西クラシックGCで開催。19社が参加、3位迄がアンダーパーという好スコアで熱戦を繰り広げました。

10月18日には本部理事会が大阪で開催されますので、会員一同心待ちにしているといった状況です。

(9月記)

●広島支部の動き

盆明けからの猛暑もやっと峠を越し、最近では朝夕涼しく感じるこのごろです。

'94年のアジア大会に向けて、メイン競技場、体育館といった大型工事も急ピッチに進んでおり、それに付随するホテル等の建設も好調で、全体に工事は活況を呈しています。

支部活動としては9月17日に親睦コンペを開催し、情報交換を主体に和やかな一日を過ごしました。

秋口から冬に向けてシーリング工事も一段と忙しくなる時期です。大いに頑張りましょう。

●福岡支部の動き

今年の夏は連日の雨に泣かされ、

9月に入り台風17号に直撃され各地で近年にない被害を受けました。また雲仙普賢岳は連日活発な火砕流で島原地区の住民の生活を脅かしています。街では9月29日の参院補欠選挙に3人が立候補し各陣営の党幹部が連日応援に駆けつけにぎやかな毎日です。

福岡ツインドーム建設と同時に予定されているシーサイドももち浜の開発、宮田町のトヨタ九州工場建設に伴う他企業の進出、都心の天神やウォーターフロント開発が続く博多港周辺での大規模な開発予定、旧国鉄香椎操車場跡地の再開発計画、そして九州の他県に本社を持つ企業等の福岡への進出が続いています。

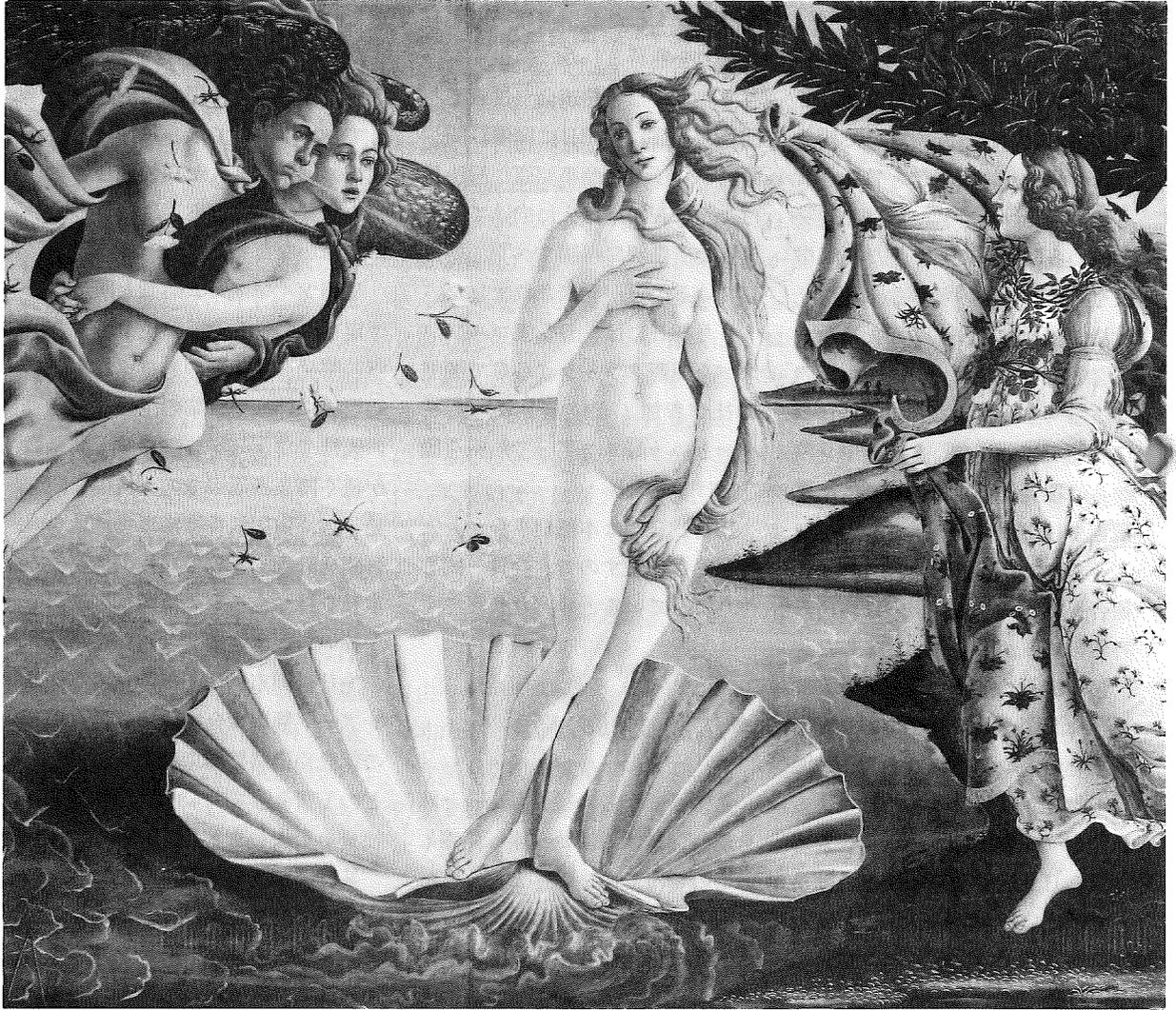
先日福岡市は1996年のユニバーシアード福岡大会に使う競技会場の新設や道路整備、選手村関係などの工費として2,430億円の公共投資を公表しました。

某経済誌の編集長の談話に「今の福岡は高度成長期の前の東京のような勢いを感じる」とあり、大手建設会社においても来年度の採用は例年なく増員している様子です。

シーリング関連の仕事も益々忙しくなることが予想されます。九シ協との結束を深め、ディーラー会の協力も得て、材・販・工が一体となり対応してゆくことが今後の課題です。

9月9日には幹事会を開催し、昭石化工(株)の福岡支部から脱会の件、ディーラー会との関連などの意見交換を行ないました。

美・サイディング用シーリング材、誕生。



美しさよ永遠に…を目指して誕生しました。

新開発 ハイグレードポリマー採用のサイディング用シーリング材『シーカフレックス7』。

施工時の美しさをいつまでも保つために生まれました。新時代のサイディング用シーリング材『シーカフレックス7』。ウレタンの常識を越えたハイグレードポリマーの開発によって、吹付塗装による目地汚染や紫外線による黄変を一挙に解消。さらに、完全無発泡で、モジュラスが低いゴム弾性を発揮。もちろん、耐久性、耐候性、接着性にも優れた性能を備えています。『シーカフレックス7』が、サイディング用シーリング材の新しい美しさを語り始めます。

新設計 サイディング用ハイグレードシーリング材

シーカフレックス®7

 **日本シカ株式会社**

本社 千143 東京都大田区大森北2-4-18 東京建物大森ビル ☎(03) 3767-9821
東京支店 千143 東京都大田区大森北2-4-18 東京建物大森ビル ☎(03) 3767-7221
大阪支店 千530 大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル ☎(06) 315-7851

札幌(011)221-6331

仙台(022)267-2501

名古屋(052)733-7353

福岡(092)472-1684

沖縄(098)869-2841

会員会社紹介(15)

総務委員会

東レ・ダウ コーニング・シリコーン株式会社

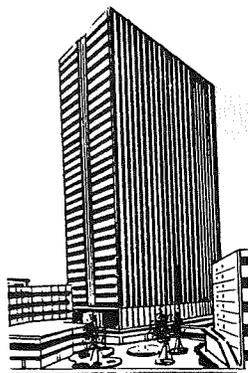
早いもので当社は本年12月会社創立25周年を迎えます。当社はシリコーンの製造・販売を目的に昭和41年(1966年)12月東洋レーヨン(株)(現東レ(株))とシリコーンのパイオニアで世界一のシリコーンメーカーである米国ダウコーニング社の合併会社トーレ・シリコーン(株)として誕生しました。

以来25年順調に成長・発展を遂げ、我が国におけるシリコーンのリーディングカンパニーの一つとしての地位を確立しております。現在、生産拠点としては千葉(合成及びオイル、レジン他の生産を担当)、福井(エラストマーの生産を担当)の2工場、研究開発拠点としては千葉に開発センター、営業ネットワークとしては全国主要11個所に営業部・営業所を擁しています。なお経済活動、企業活動のグローバル化の進展に呼応、平成元年12月社名を東レ・ダウコーニング・シリコーン(株)に変更、ダウコーニング社とともに顧客のグローバル活動をフォローする体制をさらに強化しております。

建設分野を例にとれば、これまでお客様と対応する場合、製品知識としては、シーリング材だけではほぼ事が足りたのが、ここ5~6年来、オイル(内部添加撥水剤)、レジン(耐候性塗料)、シランカップリング剤(塗布浸透型防水コーティング)、熱加硫ゴム(成形ガスケット)、ポッティング・ゲル(防振材)等へと製品・用途・ニーズが多岐にわたってきております。このためお客様からシリコーンについて何を尋ねられようとも一通りはクイックレスポンスできることを目的に「用途別・産業別担当」体制に踏み切りました。成果も十分上がってきております。

21世紀まであと10年足らずとなりましたが、シリコーンは多くの分野で、今後ますますその有用性を発揮すると思われま。政府がこの10年間に総額430兆円の大型公共投資を予定していることもあり、当社にとって建設分野は最重要の柱の一つになります。当社は今後とも本分野において新製品・新用途の開発・開拓、製品性能の向上等に対し、ベストをつくし取り組んでいく所存です。

- 建設・エネルギー産業担当
- 化学・バイオ産業担当
- 電子・情報産業担当
- 自動車・機械・電気産業担当



テイパ化工 株式会社

当社は昭和13年（1938年）、ガラスパテの製造、販売を目的に現在の本社住所に個人会社を設立し、その後時代のニーズに対応、業界の著しい技術革新など会社の業容を大きく変化させながら、お蔭様で創業50有余年を迎えております。

巷間では企業の寿命は30年といわれている昨今では、当社は既に2世代も無事終わろうとしている時期に至っており、更に次の世代に向けて模索をしているのが現状です。

創業以来、ガラスパテという油

脂工業分野での業績を重ね、昭和18年企業整備令により、社名を「帝国パテ株式会社」に改称し国内唯一のガラスパテ製造・販売メーカーとなりました。お蔭様で全国津々浦々の硝子店様とお取引頂くこととなり、パテ=帝国パテ(株)と知名度をあげる結果となりました。

昭和23年、戦後の産業界に新しい技術革新の波が押し寄せる環境の中で、当社も業容の多角化を図るべくまず社名を「テイパ化工株式会社」に改称しました。この間時代のニーズ（食糧増産）に呼応すべく、農林省承認「BHC粉剤」の製造・販売認可をとり、他業界へのチャレンジを試みたこともあります。しかし本来の生業に専念することで、非加熱性ゴムパテ、反硬化性「ソフトパテ」の開発、上市に成功し、エンドユーザーのニーズに応える商品として現在に至っている次第です。

一方、昭和40年代への突入によ

って、当社の第2世代を迎える機に相応して弾性シーリング材の登場となり、油脂工業で体得した独自の伝統技術と最新製造・検査設備に加えて、若い技術スタッフを擁してシーリング材の製造販売を開始しました。

現在では、あらゆるニーズに適材適所で応えられる商品体系の確立を計り、総合シーリング材メーカーとして実績と信頼を得ています。

またこれからの時代創造の一翼を担って、より若い技術スタッフを擁して、新製品の開発はもとより、厳しい品質管理、技術・サービスの向上に徹し、皆様方のご期待にそえる「テイパ」として技術革新の産業界に役立ちたいと努力して参る所存です。

経営信条

有事斬新 無事澄然
得意澹然 失意泰然



実績と信頼の シーリング材

PS2000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

ポリサルファイド系シーリング材

MS3000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

変成シリコン系シーリング材

U3000

JIS-A-5758 8020認定品

ボニーシーラー

ポリウレタン系シーリング材

RH200D

JIS-A-6024規格合格品

エポセット

エポキシ系注入剤

Ⓢ テイパ化工株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3-11-28
TEL 大阪(06) 328-1118(代表)
東京営業所 〒105 東京都港区新橋6-10-3(遠江ビル)
TEL 東京(03) 3431-9357(代表)

☆ポピュラー商品
耐久性のあるA型

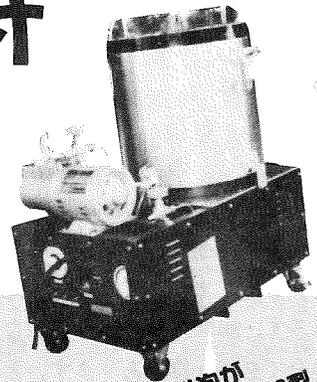
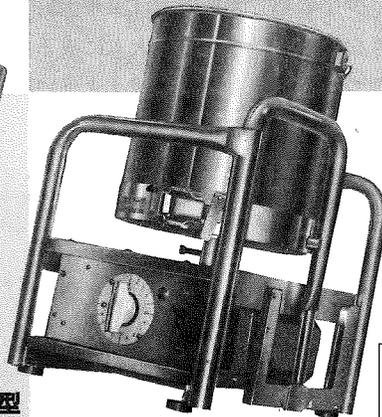
シーリング材の発展と共に歩む31年

ミキスタトリオ

☆目玉商品!!



超軽量の軽量型
重さ11.5kg!!

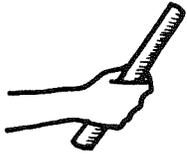


湯合と膨泡が
同時にできる250型

シーリングの発展と共に歩む

ミキスタ工業株式会社

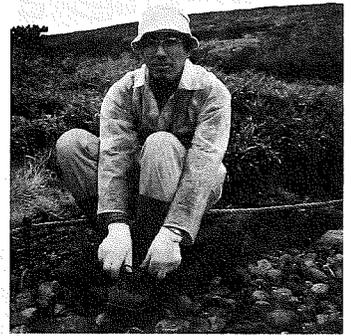
〒103 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
電話 03-3669-9471(代)



リレー随筆 その10

虫いろいろ・虫の虫

角野元昭



—何を書いて良いやら題材も思いつかず。切羽詰まった苦し紛れの心の囁きは「読んで頂く方のことはムシしてしまえ……」というわけで、世間では興味ももたれず、嫌われ者の虫につき三千余字を書きなぐった次第です。本音のところは、この行以降はムシ(無視)してお読みならないで頂くことが、虫のよい筆者の切なる願いなのであります。どうか、どうか「むし」して下さい—

●はじめに

蟲・虫・むし……広辞苑によると「むし」の項の最初に「古来、本草学で、人類・獸類・鳥類・魚介以外の小動物の総称、昆虫など」とあります。すなわち、蛇・みみず・蜘蛛・ゴカイ・昆虫などの全てを言う様であります。とくに蟲は昆虫以外にも含めるイメージ



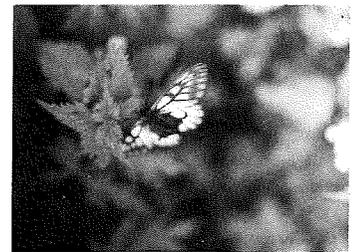
があります。別項には「潜在する意識」とか「癩癩」などが記されています。さらに、虫に関する熟語が記されていますが、その大半で虫は善い扱いを受けていない様であります。例えば「虫食い」「虫が嫌う」「獅子心中の虫」「虫ずが走る」etc.・少々ましなものとしては「勉強の虫」「本の虫」などがありますが、これとても、いささかバランス感覚に欠けた偏執的な響きが残ります。日本人には「虫の音」を愛でる心があるのですが、どうやら大半は虫は嫌われ者の存在の様であります。

少年の頃、大抵の者は虫が大好きな様です。しかし、大人に成るにつれ、興味も失せ、嫌うようになり、はては敵(かたき)にすらしってしまう様であります。何でまた、虫は嫌われることになるのでしょうか？漢字の起源・象形文字では虫の字は「まむしがとぐろを巻いた形」を表したものだそうです、虫の字には潜在的に人の心に毒蛇を連想させ恐れさせる何かがあるのでしょうか。

蟲の中の虫・昆虫はこの地球上

に百万種近くいると言われていいます。人間も生物、彼らも生物。虫にかかわる”虫の虫”にとっては、嫌われてばかりの虫を少々弁護したいような気がします。

今日は、この嫌われものの虫達を愛する”虫の虫”が虫の思い出を話を含めて、虫の事を少々、気の向くままに綴らせて頂きます。



●昔の話・ゼフィルス

—虫の虫になった切っ掛け—

大抵の男の子は虫採りが大好きです。バッタ・トンボ・クワガタ・カブトムシ・蝶などが、その代表でしょう。それが大人に成るに従い、一部の者を除いて、何時しか虫の事などすっかり興味が無くなっていきます。虫に興味が無くなる事は成長の証なのかもしれません。私は今だに虫に興味を持つ一部の者の仲間です。この一部の者の内の、更に一部の方は学問と

して昆虫を研究され、果実の害虫駆除等の人間に役立つ成果をあげられている訳であります。しかし残りの大半は、自らを虫屋と称し、虫を採ったり、撮ったり、または飼ったりで、世間からは少々変り者とみられている存在でしょうか。私もいまだ虫が嫌いになれない(成長のしないままの)虫屋の端くれなのであります。

一虫屋になったわけー

もう四十数年前の思い出になりますが、私が小学校の高学年の頃の初夏のある日、母が何処からか大変に綺麗な蝶を捕まえてきて、私に呉れたのでした。その蝶はモンシロチョウを少し小型にした程の大きさで、翅が金緑色に輝いていました。見る方向、光線の方向によっては紫色に、あるいは黄金色やピンク等に変化しオパールの燦光(さんこう)にも劣らぬ美しさです。バッタやトンボを追いかけて回していた私には大変な驚きでした、こんなに美しい虫がこの世にしようとは……その蝶を事務用のむしピンで止め箱に入れ、木箱を改造して作った机の中に仕舞込み、日に何度も眺めていたものでした。これが私が特に蝶に興味を持ち、虫屋になった切っ掛けであり、また、今は亡き母の思い出の一つなのであります。



ところで、この時の蝶は何時しかぼろぼろになり、無くなってしまいましたので、正確に種名を確認できませんが、日本名では緑小灰蝶(みどりしじみ)・学名ではゼフィルスと呼ばれる蝶の仲間であります。多くのこの仲間のひは金緑に輝く翅を持っています。このゼフィルスには「そよ風の精」の意味があるそうです。この蝶の習性で朝夕の陽のやや陰った中を、ちらちらと翅色を輝かせ、梢から梢へと追飛するさまは、まさに森の妖精を思わせるに十分です。



●ちょっと昔の話

その1 クワガタのおんちゃん
「おんちゃん、クワガタ採ってきてね」。初夏になると近所の子供達が、我が家までやってきてクワガタを採ってくるようせがみます。子供の頃にクワガタを採りまくった体験から、今でも、私には森を見、森の匂いを臭ぐとクワガタの気配を感じることが出来ますので、名人とまでは言えませんが、クワガタ採りはなかなかの腕です。自分の子供が、まだまだ虫に興味を示していたころに(もう、かれこれ十数年以前になります)、

吾が子のためにクワガタを少々多めに採ってきて、近所の子供たちにも配給!いたしておりました。吾が子も、近所の子供達も、その殆どが成長とともに虫に興味を示さなく成りましたが、代々、子供達の間では「あそこの”おじさん”に頼めばクワガタを採ってきてくれる」と言い伝えられていた様です。思わぬところで、ちびっ子の人気者?になっていたようです。しかしこの行為は、子供達にデパートで虫を買わせたと大差なく、自分達で探し求めることにより、彼らが自然観察の機会を得るのを妨げた様なもので、反省であります。

その2. 枕元の毛虫

虫も初めは採る・集める事が主ですが、採ることに飽きが来ます。そうすると、やめてしまう者、撮るに転向する者、育てるに転向する者などが出てきます。私も一時期飼育に転向しました。蝶の幼虫は芋虫、毛虫の類で少々不気味なものが多いのですが、飼ってみると、それが結構かわいらしくなるから不思議です。しかし、可愛いなど思うのは飼っている当人だけ(本当は、当人だって恐る恐る観察しているのですが)であります。周囲の家族にとって大迷惑に違いありません。幼虫は餌を食べて成長している時期には、一般にあまり食草から遠くへは行かないものです。しかし、蛹に変身する時期には安全な場所を探して、食草から遠く離れた所まで移動します。ある日のこと、飼育していた容器の管理が悪かったのか蛹化しよ

とした幼虫が外界を徘徊し、事もあろうに女房殿の枕の上で休息していたから大変です。時ならぬ悲鳴と、続く口撃（こうげき）の嵐。弁解の余地なく下を向き、ただひたすら時の過ぎるのを待つのみ、これまた反省。



●最近の話

その1. 消滅と復活

私の住んでいる市は大きな町の一つですが、この町にもまだ国蝶のオオムラサキが生息している所が残されています（いましたの過去形に近くはなっていますが）。今、この蝶は、埼玉県や山梨県では保護団体による生息環境の維持と採集の禁止運動で守られている事をご承知の方も多いかと思えます。この蝶の生息できる環境は、雑木林で、幼虫の食樹のエノキがあり、成虫の餌となる樹液を出すクヌギなどがあることが条件です。市のオオムラサキが住んでいる所は、ある公園の中なのですが、数年前、公園の林の中のエノキが切り倒され、有用樹が植林されました。園内の立看板には動植物の採集禁止がうたわれています。まだ少しのエノキが残されていますが、食樹の密度低下で観察される蝶の数は著しく少なくなりました。市の郊外の田圃には減反政策で

休耕田になったところに芦が茂り、芦を食草としていて、一時姿を消していたギンイチモンジセリが低農薬化と相俟って復活しています。何処に潜んでいたのか、一見弱々しいその姿のどこにそんな強い力が有るのかと思えます。それにしても、人間の影響は大変なもの実感しています。

その2. ゴキブリ（アブラムシ）

嫌われている虫の中でも、その最たるものの一つがこの虫かと思えます。この虫は人間などより遙かに先輩の生物なのであります。人間の100倍以上の2億年の歴史を持っています。彼らは人間の先輩にもかかわらず、人間の罟”ホイホイ”に騙され、丸めた新聞で叩かれています。理由は褐色でつやつやと脂ぎった色、すばしっこく走り回る姿が見た目に悪く、細菌運搬虫の宣伝が行き届いているためでしょうか。しかし、ゴキブリもシロアリも自然界の清掃人の役割をもって、寿命の尽きた生物の遺骸を自然に戻す働きをしている貴重な生物なのです。人間が異常にはびこり、処理しきれない食物の残飯を出すものですから、彼らも安直を求めて人間の周りに住んでいるのではないのでしょうか。誇大な表現ですが彼らは人間の浪費に対する警鐘を鳴らして走り続けている様にも見えてきます。

その3. 虫の命・虫の虫の思い

儂いものの例えに「虫の命」と使われます。この虫は成虫に成ってから一日から数日の命のカゲロウやカワゲラ、蟬などを例えたも



のでしょうが、彼らの命はそんなに短くはありません。華やかに飛び回り、結婚を迎える期間が短いだけです。この日のために雌伏し耐え続けた長い月日、種によっては十数年の日々があり、今、晴れの日を迎え思い切り、一身に喜びを表しているように私にはみえます。そして、彼らは魚の、鳥の、小動物の餌となり、食物連鎖の始まりとなって、無駄なく命をまっとうしていく。これもまた、一途に生きるもの美しさであり、儂いものでは無いように思われます。

人の生き方もかくありたい。こんな事を考えていると、ますます私には虫達が可愛らしく見え、とても憎めません。やっぱり私は変り者の”虫の虫”かなあ！

次はカネボウ・エヌエスシー(株)高島東京支店長にバトンをタッチいたします。

(日本シーリング工業会検定委員長、東レ・ダウコーニング・シリコーン(株))

注目の的!

JIS 耐久性区分 9030 に合格

高性能一成分形ポリウレタンシーラント



JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
許可番号 386031

AUTONSEALER 101A



- 特長
 - 一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
 - モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
 - 多くの被着体に対し非常に優れた接着性を持っています。
 - 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
 - 耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。
- 荷姿
 - カートリッジ (320ml) 25本入りカートン箱
 - ミニペール缶 (4ℓ) 2個入りカートン箱、ペール缶 (12ℓ)
- 色
 - グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎ (03) 3437-3482 (代表)
大阪市淀川区東三国 1-12-15 ☎ (06) 396-1421

発売元

株式会社 岩田商会

札幌	011-741-3302	名古屋	052-231-8591
仙台	022-266-1007	大阪	06-356-1121
東京	03-3438-0511	広島	0822-49-7642
長野	0262-93-4328	福岡	092-472-0235
浜松	0534-64-6331		

随筆

砂利道で つかえ棒の工場から



山内雅夫

1. 油性コーキングとの出会い

東武東上線常盤台駅の北口から、砂利道を歩いて10分。曲がりくねった細い路地に面した門を入ると、大きな木の植ったロータリーがあり、その周りの広場には石炭ガラが敷かれていた。石炭ガラは石炭の燃えかすのことで、当時は工場の熱源を石炭から重油に切り換えている時期であったから、珍しくはなかった。何棟か建っている敷地内の建物は、機械工場のようであり、総て木造であった。門のすぐ左側に2階建ての事務所。今にも倒れそうなものを、何本かの丸太でつかえ棒がしてある。正面の突き当たりには小さなボイラ室があり、小型のボイラが見え、10メートル位の煙突が立っていた。その手前の左右の建物が工場であろう。一番大きい右側の建物は仕切られていて、こちら側の部屋には実験台らしいものが見える。あれがこれから勤務する研究室だろうと思った。

“すごいところだな”と思わず首をすくめた。昭和32年2月始めのとても寒い日であった。路地に戻ってもう一度門柱の表札を確かめる。“日本添加剤工業株式会社”

木地に、墨で書かれた文字が薄れていた。

挨拶もそこそこに、工場を案内してもらうことになった。職長さんであろうか、油でべとべとになったゴム長靴を持ってきて、それを履くことになった。靴を脱いで足を入れようとしたら、「それじゃ靴下が何足あっても足りないよ」と言う。当時は靴下の穴を繕って履いていた時代であったから、あわてて足を引っ込めた。どうするのだろうと見ていたら、ボロ布の束、ウエスと呼ぶことは後で知ったのだが、その中から大きめのやつを取り出すと、包帯を巻くように裸足のつま先から足首まで起用に巻き付けたのである。

一番大きい建物は、社名の由来である重油添加剤の工場である。大きな鉛張りの缶を使って、ナフテン酸銅石鹼を複分解法で製造していた。工場の床は油でべとべと、ゴム長靴を履いた理由が納得できた。

その向かいの工場は、正面にGE製のモーターを付けた米国製のニーダーが据え付けられ、その周りには原料の石油缶や何種類もの粉の紙袋が山のように積まれてい

た。その手前に手締めの本三本ロールがあり、灰色の粘土のような製品がゆっくりと出てくるのを、金べらで掻き落とし広口の石油缶に入れていた。本来は締め付けて使用する本三本ロールのロールとロールの間隙を、シックネスゲージで調節していた。配合されているアスベストの繊維を切らないためだそうである。

石油缶には“ファインコーク”と印刷されていた。昭和化工（昭石化工の誤植ではない。その前身である）のエバーシール、エービーシー商会のABCコーキングと並んで、油性コーキング材国産第一号の榮譽に輝く、あのファインコークであることは後で知ることになる。石油缶に蓋をして荒縄で縛り、次々と…ではない。一日10缶程度の生産だそうだから、時々片隅に積み上げているのであった。「これ一缶で君の月給より高いんだよ」と言われたが実感は湧かなかった。その当時の月給は、多分1万円前後であったから、今の価格に直すとファインコーク一缶が20万円位していたことになる。荒縄で縛った石油缶が20万円だなんて信じられるだろうか。

工場の左側には、耐火レンガで築いた炉があり、その上に何んと大釜（石川五右衛門がゆでられたと言う、あの鏝の付いた炊飯釜）が乗っていた。熱源は直火、送風機で回るフィン付き小皿に灯油を滴下する宮原式バーナーがゴゴゴと音を立てて燃えている。釜にはアルミニウム製の蓋がしてあり、縦型のコンデンサーが付いていた。この釜でグリセリンとフタル酸を原料とし亜麻仁油で変性した、いわゆる長油型の変性アルキッド樹脂を製造しているのである。この樹脂に、石油樹脂、炭酸カルシウム、アスベストなどを加え、ドライヤーとしてナフテン酸コバルトなどを配合して練り混ぜたものが、油性コーキング材である。今の油性コーキング材とは比べ物にならない程作業性の悪いものであったが、耐久性は何倍もあったのではないだろうか。

生産が間に合わないので、釜をもう一基据え付けることになっていて、そのコンデンサーを設計するのが初めての仕事だったように思う。これが油性コーキング材との最初の出会いであった。シーリング材の歴史の輝かしい第1頁に触れた瞬間であった。しかしこの時には、その後シーリング業界にどっぷり漬かることになるとは思ってもいなかった。

それから重油添加剤の研究に廻り、群馬大学工学部に内地留学をしたこともあった。またノンシュリンクモルタルを開発したり、油剤メーカーの下請けで非イオン系やアニオン系の界面活性剤を合成

したり、一時コーキング材やシーリング材から離れてしまう。

1成分形ポリウレタン系を開発する頃から、またシーリング材を担当するようになり、油性コーキング材と再会するのである。そして、2成分形ポリウレタン系、同変成シリコン系と、シーリング材にのめり込んでいくようになり、いつの間にか最初に油性コーキング材と出会ってから34年もたってしまった。

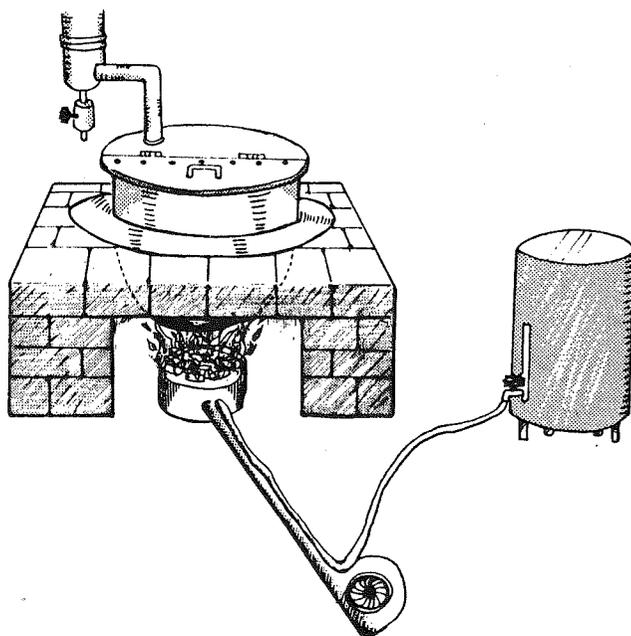
2. 大失敗！1成分形ポリウレタン系

「都の指定に入れてもらった。小笠原の都営住宅で使うから、差し当たり10トン位すぐ作ってよ」一寝耳に水であった。当時の日本添加剤工業の営業力、特に設計指定活動には目を見張るものがあっ

たが、それにしても未だ製造を開始していない、勿論小規模であれ1棟丸ごと施工したこともない1成分形ポリウレタン系を指定させてしまうとは。

都で一番条件の厳しい所は、返還されたばかりの小笠原である。ちょうど、本土に疎開して今度帰ることになった人々のために都営住宅をPCで建てているから「まずそれに使ってみて良かったら本土で使う」と都のお役人に言われたのだそうである。

油性コーキング材に出会ってから10年になろうとしていた。その間、昭和36年にはポリサルファイド系が本格的に使用され、シーリング材時代の幕が開いていた。そして昭和38年にはALCが国産され、また日本住宅公団（現：住宅・都市整備公団）もPC工法によ



る大量建設時代に入ろうとしていた。両者共に油性コーキング材を使用していたが十分ではなく、ポリサルファイド系より安価な弾性シーリング材を熱望していた。既に防水材や床材に供給され始めていた安価なウレタンプレポリマーを原料にすれば、期待に応えられそうであった。そしてALC用にはカラーウレタンの1成分形、PC用にはタールウレタンの2成分形を開発することになった。

2成分形ポリウレタン系は、1:1配合のタールウレタン防水材(当然、フロータイプである)をノンサグ化(スランプしないようにする)すれば、たちどころに出来上がると思われたが、そんな甘いものではない事がすぐに分かる。その上、屋上防水では問題にならないタールの臭いやイメージが、壁目地のシーリング材では受入れられないことも分かるのである。最初から出直しである。

1成分形ポリウレタン系は、ウレタンプレポリマーに、フタル酸エステルなどの可塑剤、水分を除去した炭酸カルシウムなどの粉体、マイクロクリスタリンワックスやヒマシ油誘導体などのスランプ防止剤、老化防止剤などのゴム薬品、チタン白やカーボン黒などの顔料、それに触媒としてある種の水銀化合物などを、水分を遮断した密閉ミキサーの中で練り混ぜれば出来上がる。難しい点は多々あるが、一番は貯蔵安定性。1成分形は空気中の水分で硬化するものであるから、“粉体の水分をどんな方法でどの位取ればよいの

か?”、“製品をどんな容器に詰めれば、少なくとも3カ月位貯蔵することが出来るのか?”である。研究の結果、粉体の脱水は溶剤(キシロール)還流によること、容器は高さを縮めたダブル押し蓋の石油缶に窒素ガスを封入することにした。

粉体脱水用の縦型還流コンデンサーの付いた缶と、練混ぜ用の真空バーチカルミキサー(逆三角形で、スクリュウ状の羽根が遊星運動を行いながら練り混ぜる)を据付け、試運転、試作と進めているところに、小笠原の話が持ち込まれたのであった。

やっとの思いで製造した1成分形ポリウレタン系“ファインシーラー#100”を、2~3カ月に1度しか出航しないチャーター船に、島流しになるとも知らず、釣り道具の手入れに余念のない営業マンと一緒に積み込んだ。

1カ月位した頃に連絡が入った「あんなもの使えるか」と。

“やっぱり駄目だったか。全部固まってしまっていたのか”と思っただがそうではなかった。

“こんな朝早くから起こしやがって”と出てみるとGCの監督さんであった。「昨日中に打っておけと言ったのに、打ってないじゃないか」、「そんな筈はありませんよ。昨日立ち会ってきちんと打ちましたよ」、「それじゃ、これから行ってみようじゃないか」――

無い?!、無いのである。昨日の夕方仕上げを確認して帰ったPC板の縦目地には、なにも無いので

ある。“棟を間違えたのかな”とあって、ヒョイと下をみるとトグロを巻いたようなものがある。触って見ると紛れもないシーリング材であった。「一晩で全部滑り落ちてしまったんだよ」とその時の状況を、営業マンから耳にたこが出来るほど聞かされたのは後のことである。

手の打ちようが無かった。ギブアップである。ちょうどその頃、某メーカーでも1成分形ポリウレタン系を開発し、少量ながら生産していた。そのメーカーにはコンクリート型枠剥離材をOEM供給していたので付き合いがある。早速、買い付けることになり上司が出向いた。そのメーカーでは、真空ボールミルで製造しており、容器は3リットル位の缶詰であると言う。これで助かった。ホット胸を撫で下ろしたのである。

その後、どんなに研究しても貯蔵安定性やスランプだけではなく、発泡や作業性など問題が多くクレームが続発した。そして、先行き大きな需要が見込めるにも拘わらず、品質改善の目処がたたず、1成分形ポリウレタン系の発売を取り止めることになった。

こうして、カートリッジ・タイプがヨーロッパから上陸するまでの数年間、1成分形ポリウレタン系は市場から全く姿を消してしまうのである。数多いシーリング材の中で、途中で消えてしまうのはこれだけである。シーリング材の歴史には“昭和42年4月、1成分形ポリウレタン系国内生産開始”と書かれているが、これは屈辱の

歴史なのである。

3. 1 : 3 配合！これこそ2成分形ポリウレタン

1成分形で一敗地にまみれたので、2成分形に全力を注ぐ事になった。防水材処方 $1 : 1$ 配合ではスランプを止める事はできないので、 $1 : 2$ 配合とすることにした。勿論、基剤のウレタンプレポリマーは原料メーカーで小分け小詰めをしてくれることになっていたので、硬化剤を製造すれば良いのである。溶剤還流による粉体の脱水は、消防法上諦めざるを得ないので、横型円筒式の真空乾燥機をいれることにした。そして、練混ぜは1成分形で使用していたバーチカルミキサーで予備練りを行い、三本ロールを通す工程とした。2成分形ポリウレタン系の硬化剤は、ポリプロピレングリコールにフタル酸エステルなどの可塑剤、炭酸カルシウムなどの粉体、スランプ防止剤、老化防止剤、顔料、触媒などを練りませれば良いのである。こうして、2成分形ポリウレタン系が誕生した。昭和45年の事であった。

皮肉と言おうか、天邪鬼と言おうか。ALC用に開発した1成分形を最初に施工したのが小笠原父島の都営住宅のPCであったならば、PC用に開発した2成分形を初めて施工することになったのは、都内繁華街のALCであった。

自信満々もちこんだにも拘らず「現場へすぐ来い」と呼び出しがかかった。行って見て驚いた。2成分形ポリウレタン系“ファイブシーラー#200”が、イースト

菌を入れたパン生地のように膨らんでいるのである。三本ロールを通したのが悪かったようである。せっかく粉体を乾燥したのに、ロールを通して間に微量の水分を吸ってしまい発泡したのであろう。といってロールを通さなければスランプを止めることができない。

それなら“基剤と硬化剤を現場で練り混ぜる時に真空ポンプで引いて脱水すればよいのではないか”という名案が出てきた。当時、既にミキスタで練り混ぜていたのであるが「ミキスタごと真空ポンプで引いてしまえ」ということになった。鉄板の上にミキスタを置き、パーマをかけるヘアードライアーのお化けのような釜をかぶせ、真空ポンプで引く機械を製作し現場に持ち込んだ。「これは一体なんだい」と職方さんも担当の営業マンも開いた口が塞がらないと言う顔。早速セットし5~6分して釜を外してみると、シーリング材が缶から溢れてミキスタはベトベト。それならば外で基剤と硬化剤を練り混ぜてからゆっくり真空ポンプで引けばよいだろう。これは大成功であった。乙女の膚のようにキメの細かい輝くようなシーリング材が練り上がっている。打ってみると全く発泡しない。仕上げはポリサルファイド系より奇麗である。だが何事にも落し穴はある。真空ポンプで引くとモーターが焼けてしまうのである。それはそうであろう。モーターは羽根を回して風を送って冷却している。真空にしたので羽根が回って

も風は起きないから、モーターが過熱して焼き切れるのである。10分位までなら焼けないことが分かったので、タイマーをつけて一件落着となった。これが現在使用されている真空脱泡ミキスタの原形になったのではないだろうか。

こんな大袈裟な機械はどこ現場でも使えるというものではない。そこでモレキュラーシーブス(粉末の脱水剤)を少量ヒートシールの袋に入れて添付し、現場で練り込むことにしたが発泡は完全には止まらなかった。その上スランプは大きいし、作業性も悪かった。さすがに剛の者ぞろいの営業も音を上げついに製造を中止し、某メーカーにOEMを頼むことになった。だが隣の畑は良く見えるの道理。その製品も大同小異であり、再び自家製の声上がるのである。

「今までの配合表は、全部破いて捨ててしまえ。全く一歩から始めろ！」今考えると冷や汗ものの指示を与えると、担当の技術者は本当にその通り実験を始めたのである。そして編み出したのが、 $1 : 3$ 配合による作業性向上、合成炭酸カルシウムによるスランプ防止、特殊アミン化合物とナフテン酸鉛の併用による可使時間の調節であった。これで作業性、スランプと可使時間は解決した。

残るは発泡防止である。そしてここで奇跡が起こった。担当者が触媒のナフテン酸鉛の量を一桁多く配合してしまうのであるが、施工してみると全く発泡しない。実験をこの方向でどんどん進める。

そしてついには粉体を乾燥しなくとも良いところまでもっていった。

こうして作業性、スランプ、可使用時間、発泡を解決した上に原料のコストダウンと工程簡略化のおまけまでついた1：3配合の新製品が誕生した。昭和50年の事であった。

使い勝手では抜群の1：3配合も、耐候性と耐熱性では1：2配合に及ばず、公布されたばかりのJIS A 5757（建築用シーリング材の用途別性能）のコンクリート2級（耐久性7020に相当）に合格するのが精一杯であった。そこで、用途をコンクリート壁に限定し、更にシーリング材表面には必ず仕上材を施す事を条件に発売を開始した。その後、配合技術の進

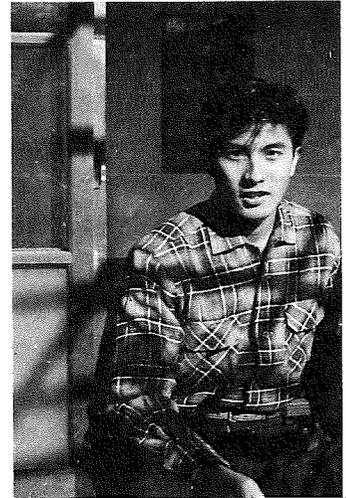
歩により、1：3配合でもコンクリート1級（耐久性8020相当）に合格するようになる。そして1：3配合は徐々に広がり、やがて主流となってシーリング材最大の規模にまで躍進する原動力となるのである。

この7月で第一線を引退したのを機会に、油性コーキング材と出会った時から工業会に出入りするようになるまでの約20年間を振り返り、印象に残っているエピソードを綴ってみました。古いことなので、記憶違いも多いと思いますが、ご容赦願います。

それにしても昔を振り返るなどは、そろそろ年貢の納め時なのでしょう。

（日本シーリング工業会

事務局長）



“ノンタック変成シリコーン” ファイジブ・No.500 無黄変プライマー No.15

優れた品質，優れた施工性，豊富な経験と実績！

変成シリコーン系シーリング材（4ℓセット）

ファイジブ・No.500

JIS A 5758 9030 合格品

ポリサルファイド系シーリング材（4ℓセット）

ファイジブ・No.300

JIS A 5758 9030 合格品

ポリウレタン系シーリング材（6ℓセット）

ファイジブ・No.200

JIS A 5758 8020 合格品



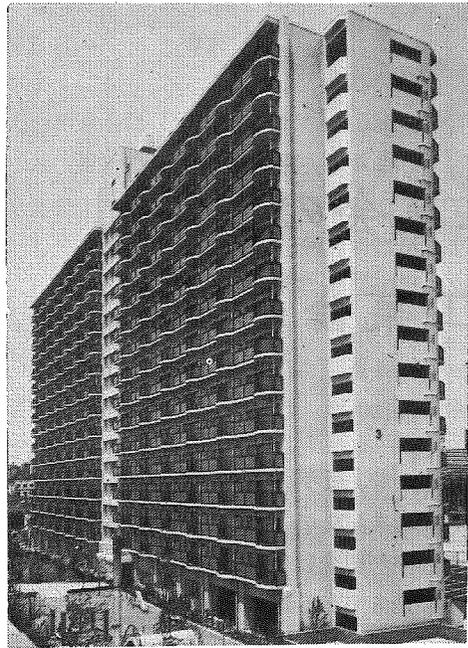
日本添加剤工業株式会社

営業部 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(3965)5731(代)
大阪支店 〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル) 電話 06(443)6231(代)
名古屋支店 〒453 名古屋市中村区大閘通2-40(フタバビル) 電話 052(451)8632(代)
本社・工場 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(3960)8621(代)
北海道代理店 潮物産(株) 電話 011(261)8271

- 屋上防水工事
- 外壁防水工事
- シーリング工事

外壁補修工事業協同組合員
 全国パラテックス防水工事業協同組合員
 東日本建設防水協同組合員
 東日本シーリング工事業協同組合員
 ゴムアスファルト防水工事業協同組合員
 全日本プレハブ建築防水協会会員
 全国アロンコート・アロンウォール
 防水工事業協同組合員

東京都知事許可 般2第36279号



株式会社 ズックス

取締役社長 出水秀夫
 東京都渋谷区代々木1-30-1
 TEL 03 (3370) 0121 (代)

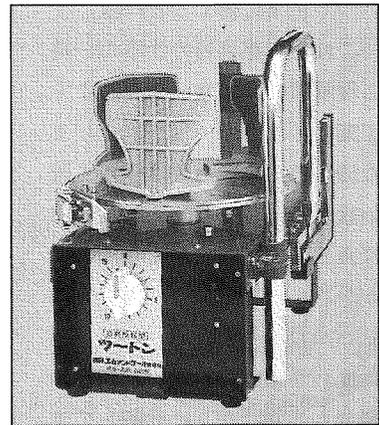
シーリング材専用攪拌機 ●自動反転型 ●正転型

小型軽量格
 低価格

ツートン

- 正転、逆転の電気回路に各々独立したリレーを組込み、タイマートラブル解消。
- 密閉型AC100V強力モーター装備。
- 別タイプのレジンミキサーに1分型自動反転誕生。

M&Kは、納入後のサービスを、大切にまいります。



エムアンドケー株式会社

本社/〒476 愛知県東海市名和町後西19 TEL052 (601) 2766・FAX052 (601) 7166
 ミキサー製造部/〒459 名古屋市長区大高町川添51 TEL052 (621) 3100・FAX052 (621) 0030
 東京営業所/TEL044 (556) 6522・FAX044 (556) 6533 ・ 大阪営業所/TEL06 (339) 0133・FAX06 (339) 0122

随筆

工業会の7年間

(工業会を去るにあたって)



木村皓一

昔は10年一昔、近年は3年一昔と言われて来ましたが、今はもっと早く世の中が変遷しています。このように見ますと工業会での7年は誠に永い年月ですが、一方もう7年になるのかと月日の経つのが早いことを今さらながら痛感させられます。

工業会を去るに当り7年間の思い出を書けとのことですが、事務局の仕事は工業会がスムーズに運営される為の内助的なものですから、皆様をアツと言わせるようなことのないのが残念です。たまたま私が着任いたしました当時は、工業会の財政が逼迫しておりましたので、それにまつわる苦労話を思いつくままに書くことに致します。これから事務局の仕事の一端をご理解頂ければ幸いと存じます。

工業会のお台所…私が着任しました59年の工業会財政は極めて苦しい状況にありました。これは58年にASCの国際会議に参加の費用がかさんだ為で、当時は毎日の支払いにも事欠き、いくつかは翌月にまわさねばならず、前任者の退職金も3回ばかりに分割して支払い、給与も2ヶ月ばかり滞りま

したし、ハンドブックの印刷代も頒布代金の回収をまって2～3回にわたり支払うような状況でした。この為、委員会経費の節減をお願いしたり共通費の圧縮につとめました。その後1～2の事業からの剰余金により最近の4～5年は財政も安定し、運営が非常に楽になった上、毎年数十万の利息まで稼げるようになりました。昨年度はASC国際会議に参加したため剰余金の一部を取崩しました。今年も来年の国際会議にかなりの費用が必要でしょう。今後毎回の国際会議に参加すれば再び財政が悪化すると思われれます。余裕が出来ればつい緩みがちになります。通常経費は会費収入内に納める予算措置を取るほか、会員の増強、新しい事業収入の企画など早急に抜本策を講ずる必要があると思えます。

◆小包は20%引き

事務局に来て初めて書籍の発送を手掛けました。台所が火の車の中で出来るだけ送料を安くする方法を調べた結果、第三種郵便は使えないこと、書籍小包が格安であること、郵便小包は10ヶ以上にすると20%引きになることを知りま

した。そこでハンドブックや機関誌、管理士テキストの発送には宅急、郵便小包、書籍小包の組合せを勘案するようにして来ました。発送に際しての梱包包装袋は誠に手間の掛る仕事でした。梱包材がないので印刷所から送ってきた機関誌などの段ボール箱や包装紙を日頃から確保するようにして再利用して来ました。機関誌は1,000ヶ所への発送となりますので、特に大仕事でした。

◆シーリング管理士講習会

一時、管理士の応募者が非常に少ない事があり、その時は工事業連合会の会長に各支部への督励をお願いする一方、工業会各支部長に該当地区からの応募状況をお知らせして工業者に参加を呼びかけて頂いたことがありました。参加者が100人を割ると講習会の運営が難かしくなますが、幸いなことに最近はや予定の130人を越え、教室の収容能力一杯まで受けつけても一部応募者をことわる状況になっています。しかし未だ工事業組合の約半数の会社に管理士が在籍していないのは誠に残念なことです。一日も早く一社一名以上の管理士が在籍するようになって欲

しいものです。講習会での苦勞は宿泊室の確保でした。とにかく大人数の宿泊なので、それだけの宿泊室を確保出来る日が限定されてしまいます。講習会終了の翌日が休日になるように講習会日程を組みたいと思っておりましたが、思うにまかせないのが残念でした。

◆公取と通産省

62年シリコン系シーリング材の独禁法違反容疑で公取の立ち入り調査を受けました。こちらの全く関知しないことなので特に戸惑うこともなかったのですが、その後私を皮切りに何人かの方が査問を受ける羽目になりましたが、大事に至らずに終わりました。災いは忘れた頃にやってくる。疑われることのないよう常に自戒したいものです。また公取の調査直後には、通産省窯業建材課から呼出しを受けました。建材班の方々でさえシーリング材とはどんな物でどんな所に使う材料かご理解なく、

2時間ばかりお話ししました。

お陰でお近付き出来るようになり、その後は新年会や総会にご出席頂けるようになり、統計調査にご協力頂いております。今後共、ご指導を頂きたいものです。

◆東京支部のこと

私が着任した当時、東京支部の財政は最悪の事態で、出納簿の記載が不確実な上、現金が数百円あるのみでした。幸い下期の会費が入る時期なので、程なく一息つけると思っていた矢先きに総会での未払い金の請求を受け、この期は全く動きが取れず、支部長も財政たてなおしに苦勞されました結果、多少の余裕ができ、事業活動ができるまでに改善されました。支部活動には全支部員が積極的に参加されるようなイベントを企画することが必要ですが、支部会員の方々も行事には進んで参加し、支部活動を盛り立ててくださるようお願い致します。

◆終りに

工業会より永年勤務の感謝状と記念品料に加え退職金を、東京支部より饒別を頂きました。おあしは足早にどことなく消えてしまいますので、折角のご厚志を無駄にしないため、本部の記念品料はイタリヤンクリスタルのキャンドルスタンドに、退職金の一部でウェッジウッドの紅茶碗を、支部の饒別はポヘミヤンの花瓶にかえ、思い出と記念にいたしました。また技術委員とJASS委員の方々に送別の宴にお招き頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

昭和59年9月以降、満7年の間、至らぬながら務めさせて頂きましたことを厚く御礼申し上げます。併せて工業会と会員各社の益々のご発展を折念し、お別れ致します。長い間誠に有難うございました。

(日本シーリング工業会

前事務局長)



日本科学技術情報センター検索サービス情報

日本シーリング工業会として、リクエストSDIサービスを受けています。
フルコピーは同センター各支所、支部へお申し込み下さい(有料)。

000002*

90A0521160

空港舗装における目地シーラント フェーズ I 実験室と現場での調査

Joint sealants for airport

pavements. Phase I: Laboratory and field investigations.

INABA C M, HIRONAKA M C, NOVINSON T (Naval Civil Engineering Lab., CA)

P0996A AD Rep

AD-A-212308

PAGE. 63p 1988

(T)(b2)(EN)(USA)

空港におけるコンクリート舗装目地のシーラント (I) 性状を実験室で研究し、現場で評価したのち、最も良い I を選んだ。I はジェット燃料、油圧オイル、潤滑油からの耐化学性、伸び、圧縮、貫入などへの耐物理性、温度、太陽光、風化による耐環境性のあることが必要である。実験室での試験では、18 I の内の 3 (17%) が仕様に適合した。I 現場検査と検討から、シール性状を明確に出来なかったが、Daw Corning 888 シリコンシールの結果が良かった。フェーズ I I で評価するため選定した I 材料は、シリコン、ポリウレタン、コールドタールとポリビニル塩化物、クロロプレンである。

RC04030G(625.82/.84)

シーラント; 目地; 空港舗装; コンクリート舗装; 耐化学性; 耐光性; 耐熱性

000003*

90A0487874

舗石舗装の再生補強システム

Pflaster gestalten und sichern mit System.

BRESCH C-M

C0630B(TFBA)(0340-5095) Tiefbau Ingenieurbau Strassenb
VOL.32, NO.4 PAGE.260,262 1990

(A)(b2)(DE)(DEU)(写図7)

古い舗石舗装は石塊の間のすき間の土がなくなるなどのため通行に不便をきたしたり、すき間にオイル等が浸透するなどの問題を生じている。その再生のシステムを開発した。これは全面に充填モルタルを流してすきまを埋めた後、洗浄液で表面を洗う方法で、その施工状況を紹介した。工費は 1 m²あたり 26 マルクである。

RC04030G(625.82/.84)

舗石舗装; 再生; 補強工事; 目地; 充填材料; モルタル; 洗浄; 建設費

000002*

90A0518378

高密度フォーム

Schaumstoffe hoher Rohdichte.

PATZELT H

C0418A (KUNSA) (0023-5563) Kunstst Ger Plast

VOL.80, NO.3 PAGE. 383-386 1990

(A)(b2)(DE)(写図6, 参1)

K' 8 9 (西独の1989年国際プラスチック見本市)の標題に関する紹介。種々の厚さのスキン層を持つ標題ポリウレタンフォームの特徴に応じた防音用、トラクタ等の内装化粧板用フォーム、縦目充填用テープ、フォーム回収にもなるフォーム小片を接着或いは高温、高圧で固めた複合品、バンパ等の独立気泡のフォームについて説明した。その外、ロールにポリウレタンの反応成分を塗布、硬化させる新しい機械等を紹介した

YH040070U(678.027-405.8)

西ドイツ; プラスチック工業; ゴム工業; 展示会; 発泡プラスチック; 容積重; ポリウレタン; 防音壁; 音響構造; トラクタ; 内装材料; テープ; 目地; 充填材料; ; 発泡成形

000001*

90A0737204

目地

Vom Dichten

NETZER W (Indstrieverbandes Dichts toffe e.V)

DO894A(0005-6634) Baugewerbe

NO.12 PAGE. 12-15 1990

(A)(b2)(DE)(DEU)(写図6, 表4, 参5)

建築材料の接合部分には、目地材料で接合・封止されるが、どう働き、どう役立ち、どこが重要か、施工のポイント等を解説。材料には、アクリルウレタン・チオコール・シリコンのプラスチック系、亞麻仁油の有機材系があり、DIN52460に規定される。本文は、硬化過程・可動許容性・線膨張係数・伸び変形量・最適目地幅・適正用途を解説

RA06050K (691:((69.02+699.8)))

目地; シーラント; ファサード

000002*

90A0628123

シリコン組成物の非接着と接着挙動

Le comportement non adhérent et adhésif des compositions silicones.

SCHORSCH G (Rhone-Poulenc, Courbevoie, FRA)

D0526A(RCPLA)(0035-3175) Rev Gen Caoutch Plast

VOL.67, NO.696 PAGE.224-225 1990

(A)(b2)(FR)(FRA)

固体表面に対するポリジメチルシロキサン (PDMS) の分子鎖の挙動、低温で加硫できるエラストマの非接着性または接着性、促進EVFの非接着性と接着性等の三つのテーマについて記述。促進EVFはRhone社が開発した新分野の製品である。

YH07140R(678.84/.86)

ポリジメチルシロキサン；加硫ゴム；接着強さ；剝離；離型剤；合成樹脂接着剤；感圧接着剤；シーラント；目地；耐寒性；シリコン樹脂；両面；製品開発；両立性

000003*

90A0620807

ブロック積み工事の基礎知識

Basic block laying.

A0657A(0549-0219) N Z Concr Constr

VOL.34, NO. May PAGE.31-32, 34-38 1990

(A)(b2)(EN)(NZL)(写図40,表1)

ニュージーランドでは建築許可を必要としない高さが2m以下のブロック擁壁を、専門家以外の者が施工しようとする場合に必要、各工程での基本知識の手引きを示した。目地モルタルの材料、調合、混練、さらに目地の種類、ブロックの積み方、目地の施工方法などを多数の写真を用いて説明した。

RA071101 (624.05 OTHERS)

建設工事；コンクリートブロック構造；手引；目地；充填材料；セメントモルタル；調合；混練；擁壁；外構；仕様；組積

[堀]

000001*

90A0903372

なぜ構造用シーラントは破壊するのか—総説

Why construction seaants fall—an overview.

WARSECK K L (BuildingDiagnostics Assoc., Florida)

H0511A(ASTTA)ASTM Spec Tech Publ(Am Soc Test Mater)

NO.1069 PAGE. 315-326 1990

(A)(b2)(EN)(USA)(写図8, 参1)

構造用シーラントの破壊原因に関する総説。この原因は、設計上の誤り、施工上の誤り及び材料の破壊に分類できる。設計上の誤りは不適当な目地寸法から生ずる。また、施工上の失敗は、取付け中の問題、例えば表面下ごしらえの欠如から生ずる。さらに、材料の破壊は、シーラント自体の問題のみならず、施工される下地によるものである。

RA06050K(691:((69.02+.05+699.8)))

シーラント；接合部；欠陥；下地；目地；水漏れ

000001*

91A0276175

接着管理 (34)

若林一民 (ノガワケミカル)

F0379A(STHKA)(0037-0495)接着

VOL.35, NO.1 PAGE.6-14 1991

(A)(b2)(JA)(JPN)(写図46,表5,参5)

シーリング材のシーリング性能はシーリング材の種類、シーリングボリューム、シーリング形状に大きく影響される。施工後の動きを考え、適正目地幅及び目地形状について考察する。目地幅の決定方法、シーリング材の施工例、シーリング部の表面処理、シーリング材施工チェックポイントを記述する

YK03000X,RA060300(668.31/39,691.1)シーラント；性能；作業性；目地；幅；最適化；形態；表面処理；チェックリスト

000001*

91A0231203

地下水のある場所の継ぎ目 堰堤水路の修理 Fugen im Unterwasserbereich.

Instandsetzung eines Wehrkanals.

KOLONKO K

C0841A (BTONA)(0005-9846) Beton

VOL.41, NO.1 PAGE.31-32 1991

(A)(b2)(DE)(DEU)(写図5,参3)

伸縮継ぎ目は大構造物に適用できない弱点が残っていたが老化した構造物のポリウレタンを基材とした特殊充填剤による補修工事が可能となり、潮力発電所での水面下の継ぎ目の修理も早期反応性充填剤で可能になった。

RA071101 (624.05 OTHERS)

堰；水路；コンクリート構造；目地；修理；充填剤；水中工事；シーラント

000001*

91A0275824

組積造・石張建築物の改・補修と防水 宮殿とあまじまい

川畑安則 (建築保全センター)

S0412A(0289-3894)防水ジャーナル

VOL.22, NO.2 PAGE.69-75 1991

(A)(d3)(JA)(JPN)(写図5)

日本に現存する唯一の洋風宮殿建築である旧赤坂離宮を迎賓館に改修した工事とその後の保全工事にかかわった者として、雨仕舞を中心に体験談を披露した。銅板葺きの屋根は排水上、雨の多い日本にはおよそ不向きな複雑な形状をしている。一方外壁は窓開口の見込が大きく、雨掛かりの少ない構造となっており、建具廻りの雨仕舞も工夫がこらされている。

RB01032Q(699.82)

防水；宮殿；古建築；保全；屋根；排水；窓；建具；目地；シーラント；東京

[雨仕舞]



※※※※※※※※※※ シーリング材生産動向 ※※※※※※※※※※

表-1 建築用シーリング材の生産量の推移 通産省生活産業局窯業建材課調べ

(単位：トン)

年次 基 材	1987年	1988年	1989年	1990年				1991年					
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
シリコーン系	11,401	13,002	15,742	18,494	4,239	4,190	4,544	5,521	9,066	4,542	4,524	—	—
1成分形	9,923	11,352	14,098	16,923	3,864	3,765	4,151	5,143	8,293	4,160	4,133	—	—
2成分形	1,478	1,650	1,644	1,571	375	425	393	378	773	382	391	—	—
変成シリコーン系	7,133	9,574	12,625	15,172	3,254	3,610	3,999	4,309	8,302	3,993	4,309	—	—
1成分形	3,861	5,155	6,311	7,198	1,537	1,708	1,866	2,087	3,901	1,813	2,088	—	—
2成分形	3,272	4,418	6,314	7,974	1,717	1,902	2,133	2,222	4,381	2,160	2,221	—	—
ポリサルファイド系	9,873	11,309	11,696	12,203	2,858	2,973	3,189	3,183	6,319	3,209	3,110	—	—
アクリルウレタン系	660	780	770	315	100	80	70	65	155	64	91	—	—
ポリウレタン系	20,542	24,513	26,631	27,914	6,472	6,778	7,051	7,613	13,502	6,548	6,954	—	—
1成分形	4,910	6,036	7,052	7,192	1,529	1,724	1,775	2,164	3,353	1,572	1,781	—	—
2成分形	15,632	18,477	19,579	20,722	4,943	5,054	5,276	5,449	10,149	4,976	5,173	—	—
アクリル系	12,694	14,634	15,276	17,095	4,135	4,180	4,094	4,686	7,741	3,859	3,882	—	—
S B R 系	52	46	39	6	6	0	0	0	0	0	0	—	—
ブチルゴム系	1,197	1,324	1,240	1,520	351	395	366	408	768	381	387	—	—
油性系	1,670	1,462	1,410	1,554	351	390	394	419	623	294	329	—	—
合 計	65,223	76,644	85,428	94,273	21,766	22,596	23,707	26,204	46,456	22,870	23,586	—	—

小数点以下は四捨五入。(JIS Z 8401 (1984)「数値の丸め方」に準拠) 従って各項目の合計は必ずしも合計値に一致しない。

[参考]

建築着工統計表

(単位：千㎡)

年 (1~12月)	総 計	木 造	非 木 造	居住専用	産業用及び 居住産業併用	他に分類 されない
1987	237,226 (114.2)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	123,703 (120.3)	113,320 (108.3)	203 (118.4)
1988	255,782 (107.8)	82,725 (97.2)	173,062 (113.7)	127,065 (102.7)	128,467 (113.4)	250 (123.2)
1989	269,212 (105.2)	85,095 (102.9)	184,118 (106.4)	128,687 (101.2)	140,183 (109.1)	342 (136.8)
1990	283,421 (105.3)	85,397 (99.6)	198,024 (107.6)	133,175 (103.5)	150,065 (107.0)	482 (140.7)
1991 (1~6)	124,260 (90.2)	38,119 (88.6)	86,141 (90.9)	58,001 (88.2)	65,960 (91.8)	299 (154.9)

注) カッコ内は前年(同期)比

S R シール

- S 70 1液変成シリコン系シーリング材
- S 50 2液変成シリコン系シーリング材
- U 73 1液ポリウレタン系シーリング材
- U 31 2液ポリウレタン系シーリング材
- E 24 2液エポキシ系目地充填材
- E 27 補修用注入型2液エポキシ
(液状・グリス状・クリームペースト状)

S R ボンド

エッジシール

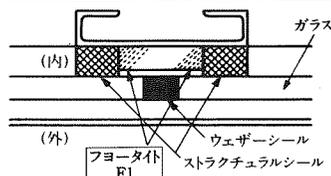
網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全確連推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

サンライズメイセイ株式会社

- 本 社 工 場 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話 (0722) 44-7500(代)
- 静 岡 工 場 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24-16
電話 (0537) 72-5700(代)
- 岡 山 工 場 〒708-13 岡山県勝田郡奈義町西原505-1 東山工業団地
電話 (0868) 36-6000(代)
- 関 東 営 業 所 〒221 横浜市神奈川区三枚町2-9-9番地5
電話 (045) 383-4651(代)
- 熊 谷 営 業 所 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目1-3-2番地(林ビル)
電話 (0485) 25-1822(代)
- 名 古 屋 営 業 所 〒465 名古屋市名東区一社3丁目90番地(チサンビル202号)
電話 (052) 703-2061(代)
- 関 西 営 業 所 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話 (0722) 44-7500(代)
- 広 島 営 業 所 〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号
電話 (082) 230-0019
- 九 州 営 業 所 〒811-32 福岡県宗像郡福岡町字長引3464番地(桜井ビル)
電話 (0940) 43-2254(代)
- サンライズUA アメリカ合衆国オハイオ州シンシナテ北部ハミルトン
電話 (513) 860-2464

フヨータイト (熱線反射ガラス映像調整バックアップ材)



シーリング材

- シリコン1液2液 変成シリコン
- ポリサルファイド
- ウレタン1液2液
- アクリル ブチル 油性

バックアップ材

- 角型 丸棒 超硬質 特殊形状
- ゴムグレイジングロープ
- マスキングテープ
- 他副資材

物流機能更に充実

- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

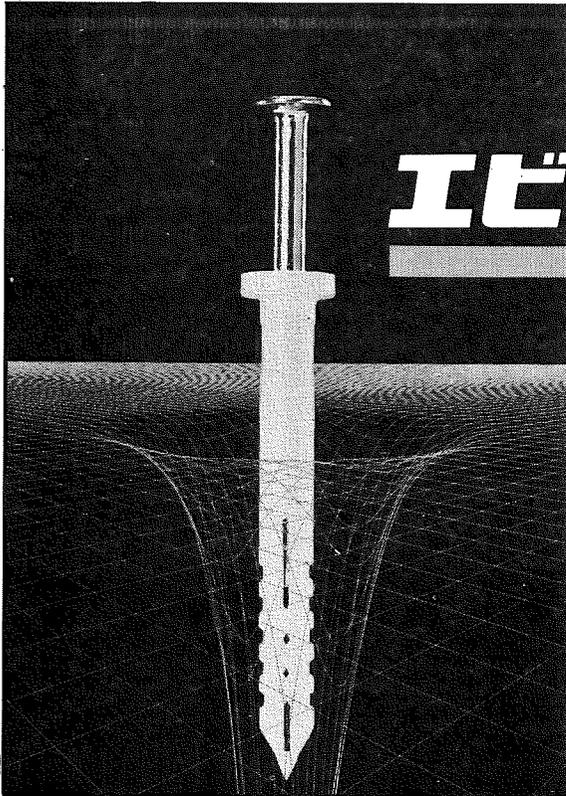
豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

- 本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(3626)3371(代)
- 大 阪 支 店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)
- 仙 台 営 業 所/〒982仙台市太白区富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)
- 横 浜 営 業 所/〒248横浜市保土ヶ谷区東川島町62-1 Tel.045(373)7234





打ち込んで
ガッチリ固定。



エビネイル。ラフ。

NP5-35/6

スチール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

防水シート・水切材施工に最適!!

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式会社

大 阪 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎(0729)62-1601代
 京 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03)3550-3671代
 名古屋 〒462 名古屋市北区八竜町1-40 ☎(052)915-0431代
 札幌 ☎(011)251-5721 高松 ☎(0878)61-6110
 仙台 ☎(022)284-5602 広島 ☎(082)292-4422代
 厚木 ☎(0462)22-7631 福岡 ☎(092)431-0395代
 金沢 ☎(0762)23-8010

エビ印 エアー式



コーキングチッパー

ハツリ効率
3倍アップの
ハイパワー



小型・軽量(800g)
ザッシまわりにも使用OK!

- コーキングチッパー CC-M
(空気消費量0.23m³/min)
- チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

作業工具 省力工具

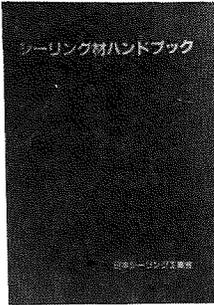


日本理器株式会社

大 阪 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎ 0729(62)1601代
 東 京 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎ 03(3550)3671代
 名古屋 〒462 名古屋市北区八竜町1-40 ☎ 052(915)0431代

札幌 ☎011(251)5721
 仙台 ☎022(284)5602
 厚木 ☎0462(22)7631
 金沢 ☎0762(23)8010
 高松 ☎0878(61)6110
 広島 ☎082(292)4422代
 福岡 ☎092(431)0395代

改定版・シーリング材 ハンドブック



好評のシーリング材ハンドブックの改定版。JIS、JASS、建設省建築工事共通仕様など最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書。シーリング材の特性と選び方に重点を置いた実用書として、誌面も解り易く見易い構成になっています。

頒布価格 1,000円

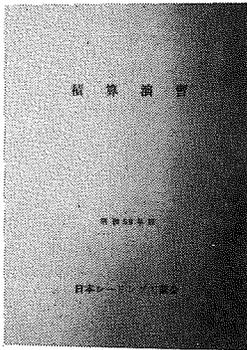
建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1991



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を目ざした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,000円

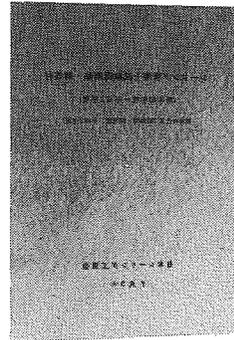
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

シーリング管理士試験 問題集・解答付

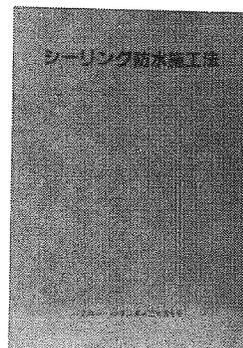


問題集として最近5年間のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 15,000円



シーリング防水施工法 改定版



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▶建築物の基礎知識▶シーリング防水の基礎知識▶良いシーリング防水工事▶良いシーリング防水工事のためのディテールシート▶故障と補修一の構成。

日本シーリング工事業協同組合連合会発行
東京都墨田区亀沢1-23-1
☎03(3626)7361

頒布価格 2,500円
(消費税別途)

(送料は別途申し受けます)

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング防水の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー及び取扱業者が加入しており、全国に7支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士、シーリング技術管理士の養成
- 日本シーリング工事業協同組合連合会と連繋、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS, JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究
- 機関誌「シーリング」(年1回発行)
- シーリングニュース(年3回発行)

日本シーリング工業会の組織

《委員会》

- 総務委員会
- 技術委員会
- 広報委員会
- 調査委員会
- シーリング管理士
- 検定委員会

《分科会》

- 機能別分科会
- 弾性系1成分形分科会
- 弾性系2成分形分科会
- 非弾性系1成分形分科会

《支部》

- 北海道支部 仙台支部 東京支部 名古屋支部
- 大阪支部 広島支部 福岡支部

シーリングニュース第43号

企画・発行：日本シーリング工業会広報委員会
〒101 東京都千代田区外神田2-2-17
共同ビル ☎03-3255-2841~2
FAX 03-3255-2183
制作協力・広告：新樹社
表紙写真：子犬

日本シーリング工業会会員

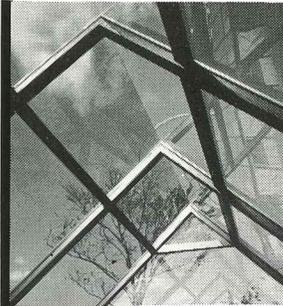
- | | |
|----------------|---------------------|
| (株)エービーシー商会 | 東芝シリコーン(株) |
| オート化学工業(株) | 東レ・ダウコーニング・シリコーン(株) |
| カネボウ・エヌエスシー(株) | 東レチオコール(株) |
| 関西パテ化工(株) | 日興化学工業(株) |
| コニシ(株) | 日東電工(株) |
| サンスター技研(株) | 日東ポリマー工業(株) |
| 三洋工業(株) | 日本シーカ(株) |
| サンライズメイセイ(株) | 日本添加剤工業(株) |
| シャープ化学工業(株) | (株)ノーベル樹脂化学 |
| 昭石化工(株) | バイエル合成シリコーン(株) |
| 信越化学工業(株) | (株)服部商店 |
| (株)スリーポンド | 早川ゴム |
| 世界長(株) | 日立化成ポリマー(株) |
| セメダイン(株) | 保土谷建材工業(株) |
| (株)タイルメント | 三井東圧化学(株) |
| 大日化成(株) | 三星産業(株) |
| 武田薬品工業(株) | ヤマウチ(株) |
| テイパ化工(株) | 横浜ゴム(株) |
| (株)東亜応用化工 | ローヌ・プーランシリコーン(株) |
| (株)東郊産業 | |

賛助会員

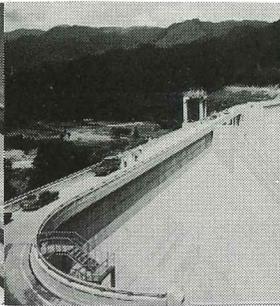
- | | |
|--------------|------------------|
| 旭化成工業(株) | 大進商工(株) |
| アサヒポンド工業(株) | (株)ダイフレックス |
| (株)井上製作所大阪支店 | タカビシ化学(株) |
| (株)小野田 | (株)日本カーテンウォール工業会 |
| 化研マテリアル(株) | (株)日本触媒 |
| 鐘淵化学工業(株) | 日本ソセー工業(株) |
| (株)菅野製作所 | 日本バックアップ工業(株) |
| 光栄商事(株) | 日本ポリウレタン工業(株) |
| (株)昭和丸筒 | 野口興産(株) |
| 白石カルシウム(株) | (株)野村事務所 |
| 白石工業(株) | フヨ一(株) |
| (株)新和商会 | ミキスタ工業(株) |

大阪支部賛助会員

- | | |
|--------------|------------------|
| 栄光産業(株) | (株)ジャビコ |
| 大阪御国商事(株) | 竹原化学工業(株) |
| 鐘淵化学工業(株) | (株)野村事務所 |
| 鐘工業(株) | フヨ一(株) |
| 岸田資材工業(株) | (株)前田精市商店 |
| (株)旭栄 | 三国金属工業(株) |
| (株)井上製作所大阪支店 | (株)宮崎 |
| 三省物産(株) | モリシタ化学産業(株) |
| 白石カルシウム(株) | (株)山本製作所 |
| 白石工業(株) | ヨコハマゴム工業品関西販売(株) |



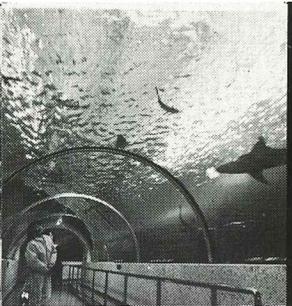
プラスチック用 シーラント 72



土木用 シーラント 70



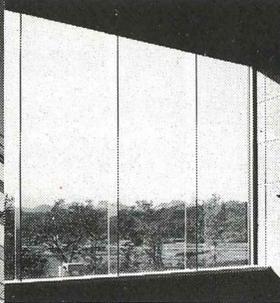
ガラス用 シーラント 45



水槽用 マリンシーラントGX



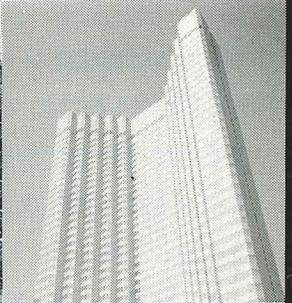
SSG構法用 シーラント 90



ガラス用 KE42



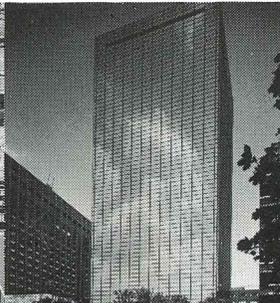
リフォーム用 シーラント 79



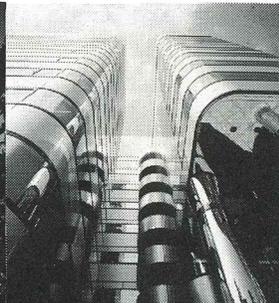
超高層用 シーラント 70



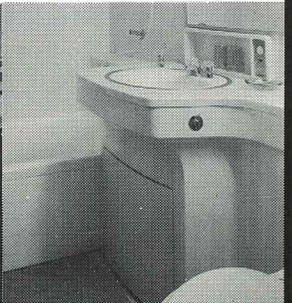
土木用 シーラント 70I



超高層用 シーラント 70



SSG構法用 シーラント 76



防カビ用 シーラント 4588

信越シリコーンシーラント

耐久性能と実績。

信越シリコーンシーラントは、耐久性、耐候性、耐熱性、耐寒性などにすぐれた高性能弾性シーリング材です。ほとんどの材料とよく接着し、一般住宅、超高層ビル、土木工事、水槽などの各種目地に幅広く使われています。

信越化学工業株式会社

〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジシビル
シリコーン事業本部 国内営業第三部 (03)3256-3651
〒100 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル
市場開発部 (03)3246-5191

大阪支店(06)444-8226

名古屋支店(052)581-6515

福岡支店(092)781-2782

札幌営業所(011)221-6471

仙台営業所(022)264-2777

北陸営業所(0776)26-1551

長野営業所(0262)28-9104

北関東営業所(0273)63-2731

高松営業所(0878)22-3613

新潟営業所(025)247-3321

広島営業所(082)248-3931

HAMATITE

横浜ゴムの建築用シーリング材「ハマタイト」。建築工法の目ざましい発展を支え続けるシーリング材のトップブランドです。'62年、国産初の弾性シーリング材として登場したこの「ハマタイト」は、横浜ゴム独自の高分子化学技術、分子合成技術などを駆使し、近代工法の高度化と多様化に応えながら拡大を続けてきました。「ハマタイト」の優秀性、信頼性に関しては、その施工と実績をみれば一目瞭然です。池袋にそびえるサンシャイン60、新都庁ビルをはじめとする新宿副都心に林立する高層ビル群、幕張テクノガーデンのツインタワー等々、日本を代表する先端建築物の数々に採用されているのです。「ハマタイト」はもちろん知る人ぞ知る存在ですが、横浜ゴムが誇るブランドのひとつなのです。

時代を築くもの。
ここに私たちの
ブランドがあります。

〈ハマタイト〉建築商品

- 2成分シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分変成シリコーン〈スーパーII〉
- 2成分ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分ポリウレタン〈UH-30〉
- 1成分変成シリコーン〈スーパーワン〉
(高モジュラスタイプ)
- 1成分変成シリコーン〈スーパーワンLM〉
(低モジュラスタイプ)
- 1成分ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分シリコーン〈SS-310〉
- 1成分弾性エポキシ〈エポソフ〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニイフロアー〉

横浜ゴム株式会社

本社 〒105 東京都港区新橋5-36-11 TEL.03(3432)7111(代)
ハマタイト事業部 〒254 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL.0463(31)3002

